

**令和4年度
第1回高知市食育推進会議 資料**

日時：令和4年12月6日（火）18：30～20：30
場所：総合あんしんセンター3階 大会議室

【目次】

| | |
|-----------------------------------|-------|
| 高知市食育推進会議条例 | 1 |
| 高知市食育推進会議委員名簿 | 2 |
| 高知市食育推進委員会（庁内体制） | 3 |
| 令和3年度 取組報告 | 4～13 |
| 令和4年度 取組状況 | 14～23 |
| 第3次高知市食育推進計画 食育推進に向けた目標値に対する現状 | 24 |
| 国の「第3次食育推進基本計画」「第4次食育推進基本計画」新旧対照表 | 25～28 |
| 高知市食育に関するアンケート調査の概要（案） | 29 |
| 平成30年高知市食育に関するアンケート調査内容一覧 | 30～32 |
| 第4次高知市食育推進計画策定スケジュール予定 | 33 |

【別添資料】

- 別添資料1** 第4回「こうちし食育やるぞねっと」情報交換会報告
- 別添資料2** 第4次食育推進基本計画における食育の推進に当たっての目標値と現状値
- 別添資料3** 第3次高知市食育に関するアンケート調査表

（幼児・保護者用，小5・中2用，成人用）

高知市条例第4号

高知市食育推進会議条例

(設置)

第1条 食育基本法（平成17年法律第63号。以下「法」という。）第33条第1項の規定に基づき、高知市食育推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 推進会議は、次に掲げる事項について、協議及び必要な調整を行う。

- (1) 法第18条第1項に規定する市町村食育推進計画（以下「食育推進計画」という。）の作成に関する事項
- (2) 食育推進計画の実施の推進に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、食育の推進のために必要な事項

(組織)

第3条 推進会議は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する委員15人以内をもって組織する。

- (1) 生産者又は事業者（法人その他の団体にあつては、その役職員等）
- (2) 医療又は保健団体関係者
- (3) 教育又は児童福祉関係者
- (4) 学識経験者
- (5) 食育に関する施策の対象となる市民団体の役職員等
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が適当と認める者

(会長及び副会長)

第4条 推進会議に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、推進会議を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を行う。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、委嘱の日から委嘱した日の属する年度の翌年度の末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会議)

第6条 推進会議の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

- 2 推進会議は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 推進会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(資料提供その他の協力等)

第7条 推進会議は、その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係部局その他の者に対し、資料の提供、意見の表明、説明その他必要な協力を求めることができる。

(守秘義務)

第8条 委員は、その職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第9条 推進会議の庶務は、健康福祉部において処理する。

(その他)

第10条 この条例に定めるもののほか、推進会議の運営について必要な事項は、会長が推進会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(会議の招集に関する特例)

2 この条例の施行の日以後最初に開催される推進会議の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集するものとする。

高知市食育推進会議 委員名簿

任期: 令和4年4月1日～令和6年3月31日

(敬称略)

| 分野 | 氏名 | 所属・職名 | |
|-------------------|-------------------|-------------------------------|----|
| 生産者 事業者 | さかもと 尚紀 坂本 尚紀 | 高知市農業協同組合 営農経済部 部長 | 新任 |
| | たむら まさのり 田村 真範 | 株式会社サンプラザ 常務取締役 | |
| | たけだ ひろき 武田 弘己 | 高知商工会議所青年部 会長 | 新任 |
| 医療・保健 関係者 | ふない まもる 船井 守 | 一般社団法人 高知市医師会 会長 | 新任 |
| | たおか たろう 田岡 太郎 | 一般社団法人 高知市歯科医師会 専務理事 | |
| | にいや みち 新谷 美智 | 公益社団法人 高知県栄養士会 会長 | |
| 教育 児童福祉 関係者 | みずた まきこ 水田 牧子 | 高知市民営保育所協議会園長会 会長 (横浜保育園長) | |
| | かない しんや 金井 伸也 | 高知市立小中義務教育特別支援学校長会 (秦小学校長) | |
| | はまじ ふみこ 濱地 扶美子 | 高知商業高等学校 教諭 | 新任 |
| | ふるや まりこ 古谷 まり子 | 高知市社会福祉協議会 地域協働課 課長補佐 | |
| 学識経験者 | わたなべ けいこ 渡邊 慶子 | 高知学園大学 健康科学部管理栄養学科 学科長 | |
| 市民団体等 | ちかもり さよ 近森 佐代 | 高知市小中学校PTA連合会 副会長 | 新任 |
| | はまうず さちこ 濱渦 祥子 | 高知市食生活改善推進協議会 会長 | |
| | にしもり みえ 西森 美恵 | 食と健康を学ぶ会 理事 | |
| | みたに ひでこ 三谷 英子 | 学校法人三谷学園 RKC調理製菓専門学校 常任顧問 | |

以上 15 名

高知市食育推進委員会(庁内体制)

| | |
|--------|---------------|
| こども未来部 | 母子保健課 |
| | 保育幼稚園課 |
| 教育委員会 | 教育政策課 |
| | 学校教育課 |
| 総務部 | 文化振興課 |
| 市民協働部 | 地域コミュニティ推進課 |
| 農林水産部 | 農林水産課 |
| 商工観光部 | 産業政策課 |
| 環境部 | 新エネルギー・環境政策課 |
| 健康福祉部 | 基幹型地域包括支援センター |
| | 生活食品課 |
| | 健康増進課 |

① 基本的な食習慣を身につけるための取組 (第3次高知市食育推進計画 P11~12)

| 関連する目標 (指標) | 現状値 (平成30年度) | 目標値 (令和5年度) |
|--|---|--------------------------|
| ① 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をして1日に2回以上、ほぼ毎日食べている市民の割合 | 20~30歳代 29.9% 20~70歳代 49.0% | 35% 60% |
| ② 朝食をほとんど毎日食べる市民の割合 | 幼児 95.5% 小学生 89.1% 中学生 78.6% 20~30歳代 68.3% | 98% 95% 90% 75% |

<今後の方向性>

- ・朝食の大切さの啓発を行います。
- ・栄養バランスの基本である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の啓発を行います。
- ・栄養バランスの基本である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の啓発を行います。
- ・共食の大切さの啓発を行うとともに、共食の機会をつくり出します。
- ・ライフステージに応じた啓発を行います。特に、若い世代 (20~30歳代) を重点に取り組みます。
- ・ライフスタイルに配慮した啓発を行います。

| 取組名 | 内容 | 関連する目標 (指標) | ライフステージ (主な対象者) | | | | 令和3年度実施状況 | 令和3年度実績 |
|----------------------------|---|-------------|-----------------|----------|-------------|---------------|-----------|--|
| | | | 妊産婦 (胎児) | 乳幼児 (幼児) | 学童・児童 (小学生) | 青年期・成人期 (中学生) | | |
| 1 幼児健診での普及啓発 | 幼児健診会場で、早寝早起き朝ごはんの大切さをパネルやリーフレットを用いて周知する。 | ①② | ○ | ○ | ○ | ○ | 変更して実施 | 1.6児健診：34回 (1,827人受診)、3歳児健診：38回 (1,835人受診) |
| 2 妊産婦子育て相談はぐくみ (育児相談) | 妊産婦、子どもに関する個別相談に対応する。 | ①② | ○ | ○ | ○ | ○ | 変更して実施 | 妊産婦子育て相談はぐくみ：11回 |
| 3 母子手帳窓口交付面接 | 母子手帳窓口交付時に、食生活について聞き取り、必要時、栄養士相談につなげる。 | ①② | ○ | ○ | ○ | ○ | 計画どおり実施 | 窓口面接率：100% |
| 4 離乳食教室 | 初めての食べ物の出会いとなる離乳食を通して、口の発達に応じた食べ方や、段階に応じた離乳食の献食 (保護者) をすることによって、食生活の大切さを理解する。 | ①② | ○ | ○ | ○ | ○ | 変更して実施 | 総合あんしんセンター：6回 保健福祉センター：2回 東部健康福祉センター：1回 |
| 5 食に関する指導計画に沿った食育活動の実施 | 食に関する指導計画を作成し、実践する。 | | ○ | | | | 計画どおり実施 | 保育所：100% |
| 6 保護者への啓発 | 園だより、給食だより、ほげんだより等を通じて「朝食を食べること」の大切さを啓発する。 | ② | ○ | ○ | ○ | ○ | 計画どおり実施 | 食育メモイ・3月号 ほげんだより2月号 |
| 7 イベントでの保育所給食の紹介 | イベントでの保育所給食の紹介 | | ○ | | | | 計画どおり実施 | 食育実践発表会に展示コーナーとして参加 |
| 8 学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導 | 児童生徒への食に関する指導やPTA対象の試食会の機会を通して、栄養バランスのとれた望ましい食事について啓発する。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 計画どおり実施 | 給食回数：小学校200回、中学校196回 給食試食会：1校/14人参加 |
| 9 小中学校食育・地場産品活用推進事業 (体験学習) | 地域や関係団体等と連携し、食育体験学習を行い、食べ物や生産等にかかわる人々への感謝の心を育てることや、体験を通して地域の産物の特色や食文化について学ぶ。 | | ○ | | | | 計画どおり実施 | 24校、33回 |
| 10 学校における食に関する指導の推進 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進する。 | ①② | ○ | | | | 計画どおり実施 | 小学校：100%、中学校：100% |
| 11 保護だより、給食だより等による啓発 | 保護だより、給食だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | ①② | ○ | ○ | ○ | ○ | 計画どおり実施 | 月1~2回保護だより、給食だより等を配布し、啓発を行った |
| 12 9年間の食に関する指導案の作成 | 小学1年生から中学3年生までの食に関する指導の学習指導案を作成し、学校で活用する。 | ①② | ○ | | | | 計画どおり実施 | 指導案全学年分完成 |
| 13 食育実践発表会 | 全国学校給食週間にあわせ、高知市立学校における食育や、学校給食について紹介するイベントを開催し、市民・学校・家庭・地域への啓発を行う。 | ①② | ○ | ○ | ○ | ○ | 計画どおり実施 | 令和4年1月15日(土)~16日(日) オーテピア、入場者数：954人 |
| 14 だしで味わう和食の日 | 11月に地元産、県内産の食材を積極的に取り入れ、だしを味わうことができるすまし汁等の献立を提供する。 | ① | ○ | | | | 計画どおり実施 | 毎年、統一献立、学校給食センター献立で実施 100% |
| 15 冬の親子料理教室 | 小学4年生児童とその保護者を対象に、学校給食で人気の高い献立を作る。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 中止 | 料理教室は中止 実施予定のレシピを対象者へ配付した |
| 16 食育推進事業 (食事提供活動支援事業) | 小中学校において、朝食提供を行うボランティアに対し、食材等の支援を行う。 | ①② | ○ | | | | 計画どおり実施 | 小学校1校 |
| 17 健康講座 (出前講座) | 広域広報課発信の「あなたに届け隊出前講座」において、申込団体に健康教育を実施する。 | ①② | ○ | ○ | ○ | ○ | 変更して実施 | 開催数：22回/参加者数：395人 |
| 18 口からはじめる食育推進事業 | 小学校での歯科保健指導の実施前後に「食と生活のアンケート」を実施し、アンケートにて朝食の摂取状況を把握する。 | ② | | | | | 変更して実施 | *コロナの影響で歯科保健指導中止校あり 朝食をほとんど毎日食べる小学生の割合：98.2% 朝食を誰かと食べる小学生の割合：64.5% |
| 19 ヘルスマイトによる啓発活動 | 本市が養成している食生活改善推進員 (ヘルスマイト) が実施する講習会において「主食・主菜・副菜をそろえて食べること」の大切さを啓発する。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 変更して実施 | 開催数：48回/参加者数：511人 |
| 20 ヘルスマイトによる啓発活動 | ヘルスマイトが実施する講習会において「朝食を食べること」の大切さを啓発する。 | ② | ○ | ○ | ○ | ○ | 変更して実施 | 開催数：54回/参加者数：757人 |
| 21 ヘルスマイトによる啓発活動 | 健康増進課実施の女性健診において、ヘルスマイトが若い世代の女性に対し、栄養バランス・朝食の大切さなどの啓発を行う。 | ①② | ○ | ○ | ○ | ○ | 計画どおり実施 | 開催数：2回/参加者数：85人 |

| 関連する目標 (指標) | 現状値 (平成30年度) | 目標値 (令和5年度) |
|--|--------------|-------------|
| ① 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日に2回以上、ほぼ毎日食べている市民の割合 | 29.9% | 35% |
| ② 減塩に気をつけた取組をしている市民の割合 | 49.0% | 60% |
| ③ ゆっくりよりよくかんで食べる市民の割合 | 68.0% | 74% |
| | 35.8% | 45% |

- ＜今後の方向性＞
- ・健康づくりや生活習慣病の予防・疾病管理のために、減塩、適正飲酒について啓発を行います。
 - ・バランスよく食べるために、主食・主菜・副菜の組み合わせや、野菜の摂取について啓発を行います。
 - ・ゆっくりにかんで食べるための効果についての取組を行います。
 - ・関係機関との協働により、健康づくりや生活習慣の改善に取り組める環境づくりを行います。

| 取組名 | 内容 | 関連する目標 (指標) | ライフステージ (主な対象者) | | | | 所管課 関係団体 | 令和3年度 実施状況 | 令和3年度実績 |
|---|---|-------------|-----------------|-------------|----------------------|-----|----------------------|--------------------|--|
| | | | 妊産婦 (胎児) | 乳幼児 (幼児) | 学童・思春期 青年期 成人期 | 高齢期 | | | |
| 1 パパママ教室 | 食生活バランスチェックを行い、毎日の食事を見直してもらおう。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 母子保健課 | 変更して実施 | 開催数：5回、71組参加。 新型コロナウイルス感染症対策の為、SATシステムの利用を中止としたが個別対応した。 |
| 2 学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導の推進【再】 | 児童生徒への食に関する指導やPTA対象の試食会の機会を通して、栄養バランスのとれた望ましい食事について啓発する。 | ①②③ | ○ | ○ | ○ | ○ | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 給食回数：小学校200回、中学校196回 給食試食会：1校/14人参加 |
| 3 学校における食に関する指導の推進【再】 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進する。 | ①② | ○ | | | | 教育政策課 学校教育課 | 計画どおり実施 計画どおり実施 | 小学校：100%、中学校：100% 小学校：100%、中学校：100% |
| 4 食育だより、給食だより等による啓発【再】 | 保健だより、給食だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | ①②③ | ○ | ○ | ○ | ○ | 教育政策課 学校教育課 | 計画どおり実施 計画どおり実施 | 月1〜2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行った。 月1〜2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行った。 |
| 5 9年間の食に関する指導案の作成【再】 | 小学1年生から中学3年生までの食に関する指導の学習指導案を作成し、学校で活用する。 | ①② | ○ | | | | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 指導案全学年分完成 |
| 6 健康講座 (出前講座) | 広聴広報課発行の「あなたに届け出前講座」において、申込団体に健康教育を実施する。 | ①②③ | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 | 変更して実施 | 開催数：22回/参加者数：395人 |
| 7 健康相談 (出張相談) | いきいき健康チャレンジPRイベント等、量販店に出向き、相談および啓発をいざい健康チャレンジPRイベント等、量販店に出向き、相談および啓発を実施する。 | ①②③ | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 | 変更して実施 | 開催数：5回/参加者数：76人 |
| 8 女性健康診断結果説明会 | 健康結果を返す際に説明会を開催し、健康増進や生活習慣病の発症・重症化予防の講座を行う。 | ①②③ | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 | 変更して実施 | 開催数：2回 (2回中止)/参加者数：18人 |
| 9 いきいき健康チャレンジ関連イベント (スタートイベント・応援講座・結果報告会) | 関係団体 (高知風采業士会・ヘルスマイト・協会けんぽ) と連携して、健康増進の観点から食育に関する啓発を行う。 | ①② | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 | 変更して実施 | スタートイベント中止。 応援講座1回実施/参加人数：56人 結果報告会中止。 |
| 10 生活習慣病予防に関する協議会 | 生活習慣病の予防対策を推進するため、関係機関と具体的な方策について協議し、啓発活動や環境づくり等の取組につなげる。 | ①②③ | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 | 変更して実施 | 協議会は時間短縮し1回実施 (1回は中止)。高血圧対策について協議。 |
| 11 ヘルスマイトによる啓発活動【再】 | ヘルスマイトが実施する講習会において「主食・主菜・副菜をそろえて食べること」の大切さを啓発する。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 市販食品改訂推進協議会 | 変更して実施 | 開催数：48回/参加者数：511人 |
| 12 ヘルスマイトによる野菜料理レシピの考案および啓発活動 | ヘルスマイトが高知食材を使用した野菜料理レシピを考案し、そのレシピを用いて、講習会において「野菜を食べること」の大切さを啓発する。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 市販食品改訂推進協議会 | 計画どおり実施 | 開催数：1回/参加者数：100人 |
| 13 ヘルスマイトによる啓発活動 | ヘルスマイトが実施する講習会において、減塩に関する内容を盛り込み、啓発を行う。 | ② | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 市販食品改訂推進協議会 | 計画どおり実施 | 開催数：5回/参加者数：110人 |
| 14 ヘルスマイトの料理恋活 | 結婚を考える20歳代〜40歳代の男女の出会いイベントを通して、健康的な生活習慣や食生活を伝えるとともに、料理経験の少ない若い世代の食生活の自立を促す。 | ①② | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 市販食品改訂推進協議会 | 中止 | |
| 15 特定健康診査・特定保健指導 | 40〜74歳の高知市国保被保険者にメタボリックシンドローム (通称：メタボ・内臓脂肪症候群) をはじめとする生活習慣病の早期発見・早期予防を目的とした健康診・保健指導を実施する。 | ①②③ | ○ | ○ | ○ | ○ | 保険医療課 | 計画どおり実施 | ＜令和2年度実績＞ ※令和2年度法定報告値より 特定健康診査受診率：31.4% 特定保健指導実施率：31.3% |
| 16 高知市国保若年者健康診査・保健指導 | 39歳の高知市国保被保険者にメタボリックシンドローム (通称：メタボ・内臓脂肪症候群) をはじめとする生活習慣病の早期発見・早期予防を目的とした健康診・保健指導を実施する。 | | | | | | 保険医療課 | 計画どおり実施 | 若年者健康診査受診率：69名 医療機関受診勧奨通知：4名 |

③低栄養を予防するための取組(第3次高知市食育推進計画P14)

| 関連する目標(指標) | 現状値 (平成30年度) | 目標値 (令和5年度) |
|--|-----------------|----------------|
| ① 主食・野菜・副菜を組み合わせた食事を1日に2回以上、ほぼ毎日食べている市民の割合 | 29.9% | 35% |
| ② 一日一回は誰かと一緒に食事をとする市民の割合 | 49.0% | 60% |
| | 54.4% | 60% |

<今後の方向性>
 ・「低栄養」について、知識や理解の普及啓発を行います。
 ・若い女性の栄養状態が、次世代への健康につながることを啓発を行います。
 ・食の機会を通じた集いの場づくりを推進します。

| 取組名 | 内容 | 関連する目標(指標) | ライフステージ(主な対象者) | | | | 所管課 関係団体 | 令和3年度 実施状況 | 令和3年度実績 |
|----------------------------------|---|------------|----------------|----------|------------|-------------|-------------------------------|--------------------|---|
| | | | 妊産婦 (胎児) | 乳幼児 期 | 学童・ 児童期 | 青年期 ・若年期 | | | |
| 1 パパママ教室【再】 | 食生活バランスチェックを行い、毎日の食事を見直してもらおう。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 母子保健課 | 変更して実施 | 開催数：5回、71組参加。 新型コロナウイルス感染症対策の為、SATシステムの利用を中止したが個別対応した。 |
| 2 中学生に対する食に関する指導の推進 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進する。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 教育政策課 学校教育課 | 計画どおり実施 計画どおり実施 | 中学校：100% 中学校：100% |
| 3 学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導の推進【再】 | 児童生徒への食に関する指導やPTA対象の試食会の機会を通して、栄養バランスのとれた望ましい食事について啓発する。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 給食回数：小学校200回、中学校196回 給食試食会：1校/14人参加 |
| 4 保健だより、給食だより等による啓発【再】 | 保健だより、給食だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 教育政策課 学校教育課 | 計画どおり実施 計画どおり実施 | 月1~2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行った。 月1~2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行った。 |
| 5 健康講座 いきいき百歳体操サポーター養成 | 高齢期における低栄養予防の意識づくりなど、介護予防事業を展開する。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 高齢者支援課 | 変更して実施 | 地域の健康講座16回/340人 サポーター養成1回/15人 ※新型コロナウイルス感染症拡大により、支援回数や規模縮小 |
| 6 低栄養予防プログラム | 高齢期における低栄養予防の意識づくり、低栄養にならない食習慣の獲得。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 高齢者支援課 | 変更して実施 | いきいき百歳体操の12会場(4回コース/会場)で試行的に実施 開催会場：12会場(支援回数47回) 延べ参加者数：766人 ※令和3年度分の支援残り1回あり ※新型コロナウイルス感染症拡大により、支援回数や規模縮小 |
| 7 健康講座(出前講座)【再】 | 広域広報啓発信の「あなたに届け隊出前講座」において、申込団体に健康教育を実施する。 | ①② | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 | 変更して実施 | 開催数：22回/参加者数：395人 |
| 8 女性健診・結果説明会 | 健診や結果説明会の際に、貧血予防の啓発や保健指導を実施する。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 | 変更して実施 | 開催数：2回(2回中止)/参加者数：18人 |
| 9 ヘルスマイトによる啓発活動 | ヘルスマイトが実施する講習会において、「低栄養予防」の啓発を行う。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 市役所生活福祉課 市役所生活福祉課 | 変更して実施 | 開催数：43回/参加者数：507人 |
| 10 ヘルスマイトによる啓発活動【再】 | 健康増進課実施の女性健診において、ヘルスマイトが若い世代の女性に対し、栄養バランス・朝食の大切さなどの啓発を行う。 | ① | ○ | ○ | ○ | ○ | 健康増進課 市役所生活福祉課 | 計画どおり実施 | 開催数：2回/参加者数：85人 |

④歯と口の健康のための取組 (第3次高知市食育推進計画 P15)

| 関連する目標 (指標) | 現状値 (平成30年度) | 目標値 (令和5年度) |
|---------------------|-----------------|----------------|
| ① ゆっくりよくかんで食べる市民の割合 | 35.8% | 45% |
| ② 歯肉炎になっていない小中学生の割合 | 74.8% | 81% |
| | 67.6% | 74% |

<今後の方向性>

- ・子どもの口の発達に応じた食べ方の啓発を行います。
- ・口の機能や口呼吸の改善のために口の体操を普及します。特に、幼児期・学童期を重点に取り組みます。
- ・しっかりとよくかんで食べることで歯の健康や生活習慣病予防と関係することの啓発を行います。
- ・「かかりつけ歯科医」をもち、口の健康管理をすることを継続して啓発します。
- ・ライフステージに応じた啓発を行います。

| 取組名 | 内容 | 関連する目標 (指標) | ライフステージ (主な対象者) | 所管課 関係団体 | 令和3年度 実施状況 | 令和3年度実績 |
|-----|-------------------------|-------------|---------------------------------------|-----------------|---------------|---|
| 1 | パパママ教室 | ① | 妊産婦 乳幼児 学童期 (幼児) 期 思春期 青年期 成人期 高齢期 | 母子保健課 | 中止 | |
| 2 | 離乳食教室や育児講座での普及啓発 | ① | | 母子保健課 | 変更して実施 | 開催数：9回 細菌カウンタは中止し、講義内容に保護者の口の健康についての内容を追加。 |
| 3 | 幼児健診での普及啓発 | ① | | 母子保健課 | 変更して実施 | 1.6 児歯科健診：34回、3歳児歯科健診：38回 (1,835人) |
| 4 | 子育て支援センターでの育児講座 | ① | | 母子保健課 | 変更して実施 | 11か所 |
| 5 | 保護者への啓発 | ① | | 保育幼稚園課 | 計画どおり実施 | 給食室だより5.7・9・10月号 食育メモ6・11月号 ほげんだより6・8・11月号 |
| 6 | 発達に応じた給食の提供 | ① | | 保育幼稚園課 | 計画どおり実施 | 日々の給食で実施 |
| 7 | 歯科口腔健康指導 | ② | | 学校教育課 健康増進課 | 変更して実施 | 高知学園短大学生による歯科保健指導 小学校17校、中学4校に講話を実施 |
| 8 | 授業等における歯の健康に関する指導 | ② | | 学校教育課 | 計画どおり実施 | 高知市立学校全校で実施 |
| 9 | かみかみ献立 | ①② | | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 高知市立学校全校で実施 |
| 10 | 保健だより、食育だより等による啓発 | ①② | | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 高知市立学校全校で実施 |
| 11 | かみかみ百歳体操の普及啓発 | ① | | 健康増進課 高齢者支援課 | 変更して実施 | ※実施回数：84回、健康講座：0回 ※新型コロナウイルス感染症拡大により、支援回数や規模縮小 |
| 12 | 放課後児童クラブでの健康講座 | ①② | | 健康増進課 | 変更して実施 | コロナの影響で中止時期あり 開催数：40回(17校) 参加者数：1,180人 |
| 13 | 出前講座 | ① | | 健康増進課 | 変更して実施 | 開催数：3回、参加者数：39人 * 1回中止 |
| 14 | 歯つらいスマイルフェア | ①② | | 健康増進課 市歯科医師会 | 中止 | コロナの影響で中止 |
| 15 | 成人歯周病健診事業 | ①② | | 健康増進課 | 計画通り実施 | 受診者数：401人(令和4年4月報告分) |
| 16 | 女性健診における歯科健診 | ①② | | 健康増進課 | 変更して実施 | 3回実施 受診者数：140人 * 1回中止 コロナの影響で中止時期あり |
| 17 | 若い世代・働き世代への保健指導 | | | 健康増進課 | 変更して実施 | 集団指導(母子保健課事業、結果説明会)：14回 379名 個別指導(結果説明会)：1回 12名 職場の健康づくり応援講座での個別指導：中止 協会けんぽ主催の特定健診での個別指導：中止 |
| 18 | いきいき健康チャレンジと連携した啓発・保健指導 | ① | | 健康増進課 | 変更して実施 | スタートイベントで、全身の健康と歯周病について講話を実施する。 チャレンジ記録ノートに、歯科健診・受診のチェック項目やかむことについての啓発、応援講座での個別指導、量販店等での普及啓発を実施する。 |

⑤安全な食生活を送るための取組 (第3次高知市食育推進計画 P16)

| 関連する目標 (指標) | 現状値 (平成30年度) | 目標値 (令和5年度) |
|-----------------------------|-----------------|----------------|
| ① 食中毒予防のための正しい知識を持っている市民の割合 | 14.1% | 20% |

＜今後の方向性＞

- ・手洗いの大切さの啓発を行います。
- ・食中毒予防の三原則の啓発を行います。
- ・子どもの頃から生活における手洗いを継続して行います。
- ・鶏肉の生食の危険性の普及啓発を継続して行います。
- ・焼肉の際のトンダと箸の使い分けや加熱調理の徹底の普及啓発を継続して行います。
- ・カキなどの二枚貝の生食の危険性の普及啓発を行います。

| 取組名 | 内容 | 関連する目標 (指標) | ライフステージ (主な対象者) | | | | 所管課 関係団体 | 令和3年度 実施状況 | 令和3年度実績 |
|-----------------------------|--|-------------|-----------------|----------|----------------|-------------|-------------|---|---------|
| | | | 妊産婦 (胎児) | 乳幼児 期 | 学童・ 児童 期 | 青年期 ・思春期 | | | |
| 1 食事前等の手洗いのための啓発活動 | 子どもの頃から手洗いの衛生習慣を意識づける。 | ① | ○ | | | | 計画どおり実施 | 日々の保育で実施 給食室だより5・7・12・2・3月号、食育メモ7・8・12月号、ほけんだより1月号にて手洗い等衛生習慣について啓発 | |
| 2 保護者への啓発活動 | 園だより、給食だより、ほけんだより等を通じ、衛生習慣についての啓発活動を行う。 | ① | ○ | ○ | ○ | | 計画どおり実施 | 給食準備における手洗い、身支度等に関する指導を通して、衛生的に給食実施に取り組む。 | |
| 3 学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導 | 給食だより、給食だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | ① | ○ | ○ | ○ | | 計画どおり実施 | 給食準備における手洗い、身支度等に関する指導を通して、衛生的に給食実施に取り組む。 | |
| 4 保健だより、給食だより等による啓発 | 保健だより、給食だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | ① | ○ | ○ | ○ | | 計画どおり実施 | 月1～2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行った。月1～2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行った。 | |
| 5 広報「あかるいまち」やホームページによる広報 | 広報「あかるいまち」やホームページを活用し、広く市民に食の安全に関する情報を発信する。 | ① | | ○ | ○ | | 計画どおり実施 | あかるいまち 8月：アイクアウトした食品等は早めに食べ きりましょう！ 1月：ノロウイルス食中毒に注意！ | |
| 6 消費者を対象とした食品衛生講習会の開催 | 広徳広報発信の「あなたに届け隊出前講座」や、児童とその保護者を対象とする食品衛生教室等で、自らを守る食中毒予防に関する正しい知識について普及啓発する。 ＜健康講座 (出前講座)、親子食品衛生教室＞ | ① | | ○ | ○ | | 中止 | 健康講座：依頼はあったが、先方から開催見合わせ連絡あり中止 親子食品衛生教室：開催見合わせ | |
| 7 事業者を対象とした食品衛生講習会の開催 | 事業者を対象とする各種講習会等において、食中毒予防に関する正しい知識等について普及啓発する。 ＜営業許可証交付講習会、食品衛生責任者養成講習会、事業者・給食関係者等講習会、食品関連事業者の監視指導＞ | ① | | ○ | ○ | | 変更して実施 | 営業許可証交付講習会：22回/981名 食品衛生責任者養成講習会：12回/859名 事業者・給食関係者等講習会：35回/1,018名 食品関連事業者の監視指導：3,115件 | |
| 8 食の安全に関するリスケコミコミュニケーションの開催 | 消費者・事業者・行政が食の安全に関する正確な情報を共有する機会をもつことで、様々な立場でそれぞれ主体的に食の安全への関わりが持てるような正確な情報の共通認識を目指す。 | ① | | ○ | ○ | | 中止 | 新型コロナウイルス感染症状況により開催見合わせ | |

関連する目標 (指標)

| 関連する目標 (指標) | 現状値 (平成30年度) | 目標値 (令和5年度) |
|------------------------|-----------------|----------------|
| ① 災害時の食の備えを実践している市民の割合 | 20～70 歳代 66.5% | 80% |

<今後の方向性>

- ・備蓄の必要性について、啓発を行います。
- ・飲料だけでなく主食・副食など備えが充実するよう、備蓄食の内容について、啓発を行います。
- ・子ども頃から「災害に備える」知識や理解を深めるための啓発を行います。

| 取組名 | 内容 | 関連する目標 (指標) | ライフステージ (主な対象者) | | | | | 所管課 関係団体 | 令和3年度 実施状況 | 令和3年度実績 |
|------------------------|---|-------------|-----------------|----------|------------|------------|-----|------------------|--------------------|---|
| | | | 妊産婦 (胎児) | 乳幼児 期 | 学童・ 思春期 | 青年期 成人期 | 高齢期 | | | |
| 1 保育所等における備蓄食の確保 | 保育所で被災することを想定し、園児・職員の備蓄食の確保を行う。 | | ○ | | | | | 保育幼稚園課 | 変更して実施 | 市立保育所26園、市立幼稚園1園に備蓄食品を整備 |
| 2 保育所給食での備蓄食の提供 | 備蓄食を給食として提供・喫食することにより、災害時に備えた取組を行う。 | | ○ | | | | | 保育幼稚園課 | 計画どおり実施 | 上記の施設で賞味期限の入れ替えの際に給食として提供し、実際に食べる経験をした |
| 3 防災給食の実施 | 9月に1回実施、災害時の食を通し、災害に備えようとする意識を高める機会とする。 | ① | | ○ | | | | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 小学校37校、中学校4校、義務教育学校2校で実施 春野東小・春野西小・特別支援学校は11月に実施 |
| 4 学校における食に関する指導の推進 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進する。 | ① | | ○ | | | | 教育政策課 学校教育課 | 計画どおり実施 計画どおり実施 | 小学校：100%、中学校：100% 小学校：100%、中学校：100% |
| 5 食育だより、給食だより等による啓発【再】 | 食育だより、給食だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | ① | | ○ | ○ | | | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 月1～2回保健だより、給食だより等を配付し、啓発を行った |
| 6 健康講座 (出前講座) | 健康講座において、備蓄の必要性に関する内容を盛り込み、啓発を行う。 | ① | | | ○ | ○ | | 学校教育課 | 計画どおり実施 | 月1～2回保健だより、給食だより等を配付し、啓発を行った |
| 7 健康相談 (出張相談) | 健康講座において、備蓄の必要性に関する内容を盛り込み、啓発を行う。 | ① | | | ○ | ○ | | 健康増進課 | 変更して実施 | 啓発回数：2回 チラシ配布人数：42人 |
| 8 ヘルスマイトによる啓発活動 | いきいき健康チャレンジPRイベント等、量販店に出向き相談を実施する際に、啓発・情報提供を実施する。 | ① | | | ○ | ○ | | 健康増進課 | 変更して実施 | 開催回数：5回/参加者数：76人 |
| 9 啓発活動 | リーフレットの配布やフェイスブック、ラジオ等を通じた、災害時における備蓄の啓発を行う。 | ① | | | ○ | ○ | | 健康増進課 市史市政広報課 | 計画どおり実施 | 開催数：1回/参加者数：80人 |
| 10 自主防災組織による炊き出し訓練の実施 | 防災時、ありあわせの食材を用いて食事を作り、その手順を共有するための訓練を実施している。 | ① | | | ○ | ○ | | 防災政策課 | 計画どおり実施 | 講習会や市民からの要望があった際のリーフレット配布やフェイスブック、ラジオを通じて、災害時における備蓄の啓発を行った。 |
| | | | | | ○ | ○ | | 地域防災推進課 | 計画どおり実施 | 実施団体数：34 (新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った団体が多くなくなっているもの。) |

| |
|---|
| <p>今後の方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスの軽減に関する啓発活動を継続して行います。 ・食品リサイクルを推進します。 |
| <p>関連する目標 (指標)</p> <p>① 食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合 20～70 歳代 98.0%</p> <p>現状値 (平成30年度) 98.0%</p> <p>目標値 (令和5年度) 98%</p> |

| 取組名 | 内容 | 関連する目標 (指標) | ライフステージ (主な対象者) | | | | 所管課 関係団体 | 令和3年度 実施状況 | 令和3年度実績 |
|-----------------------------------|--|-------------|-----------------|----------|-------------|----------------|-------------|---|---------|
| | | | 妊産婦 (胎児) | 乳幼児 (幼児) | 学童・児童 (小学生) | 青年期・成人期 (中学生) | | | |
| 1 園児や保護者への啓発 | 生ごみリサイクル等を通じ、園児や保護者にゴミ削減について啓発を行う。 | | | ○ | | | 計画どおり実施 | 給食室だより10月号を通じ、園児や保護者に食べ残しや食品ロス削減について啓発を行った。 | |
| 2 学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導 | 給食の残食量を毎食計量、記録する。給食の残食を少なくする取組を行う。(給食委員会等)。 | ① | | ○ | | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 給食の残食量を毎食計量、記録した。給食の残食を少なくする取組を行った(給食委員会等) | |
| 3 学校における食に関する指導の推進 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進する。 | ① | | ○ | | 教育政策課 学校教育課 | 計画どおり実施 | 小学校：100%、中学校：100% 小学校：100%、中学校：100% | |
| 4 保健だより、給食だより等による啓発【再】 | 食育だより、給食だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | ① | | ○ | ○ | 教育政策課 学校教育課 | 計画どおり実施 | 月1～2回保健だより、給食だより等配付し、啓発を行った 月1～2回保健だより、給食だより等配布し、啓発を行った | |
| 5 食べ歩き協力店登録制度 | 外食時の食べ残しの削減に積極的に取り組んでいただけただけでなく、市内の飲食店・宿泊施設等の店舗を「高知市食べ歩き協力店」として募集・登録し、市民に周知することで、食べ残しの削減に対する市民の意識の高揚を図るとともに、市民、事業所及び行政が一体となった食べ歩き運動の推進を図る。 | ① | | ○ | ○ | 新エネルギー環境課 | 変更して実施 | 登録店舗数：18店舗 (新規登録2店舗) ※新型コロナウイルス感染症の影響につき、加入店舗増のための飲食店への訪問を自粛 | |
| 6 忘年会・新年会はおいしく残さず食べきろう！全国共同キャンペーン | 食品ロス削減に取り組み自治体間のネットワークである「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」の全国共同キャンペーンとして、30・10運動等、真会時の食べ残しを減らすための周知・啓発を行う。 | ① | | ○ | ○ | 新エネルギー環境課 | 計画どおり実施 | 外食の機会が増える年末年始に合わせて、商工会議所、青年会議所を通じて、各会員事業所へ全国共同キャンペーンの周知及び協力依頼を行うとともに、市ホームページや庁内掲示等を活用して、市民等への啓発を行った。 開催数：7回、参加者数：574人 ※新型コロナウイルス感染症により開催数大幅減 | |
| 7 環境学習 | 保育園等では、環境業務課職員による寸劇「環境選隊クリーンレンジャー」を通じ、親子でごみの分別等を学んでもらう中で、好き嫌いや食べ残しをなくす必要性を説明する。また、小学校や大学等では、授業や講義の中で食品ロスの問題についての周知・啓発を行う。 | ① | | ○ | ○ | 環境業務課 | 変更して実施 | 開催数：6回、参加者数：131人 ※新型コロナウイルス感染症により開催数大幅減 | |
| 8 ごみ出前講座 | 町内会等からの依頼によるごみの出前講座で、食品ロスの問題についての周知・啓発を行う。 | ① | | ○ | ○ | 環境業務課 | 変更して実施 | 地球温暖化対策として、あらゆる賢い選択を促す国民運動「COOL CHOICE」のイベントや、高知市教育委員会及び高知市学校給食会が主催する「食育実践発表会」にて、食品ロス問題に関するパネル展示等を実施し、周知・啓発を行った。 ・土佐の豊稔祭 10/23 (土)・24 (日) ・住まいるパーク 10/30 (土)・31 (日) ・すこやか2021 11/20 (土)・21 (日) ・食育実践発表会 1/15 (土)・16 (日) | |
| 9 食品ロスをテーマとしたイベントの実施 | 食品ロスの問題についてのイベントを実施し、周知・啓発を行う。 | ① | | ○ | ○ | 新エネルギー環境課 | 変更して実施 | | |

| 関連する目標（指標） | 現状値 （平成30年度） | 目標値 （令和5年度） |
|---|-----------------|----------------|
| ① 高知の食を豊かだと思ふ市民の割合 | 83.9% | 93% |
| ② 高知ならではの料理や食材を食べたことがある小中学生の割合 | 88.7% | 95% |
| ③ 高知ならではの料理や食材、食べ方などを、次世代に伝えていくことを大切だと思ふ市民の割合 | 83.5% | 92% |
| ④ 地域の人や家族と高知の食を楽しむ市民の割合 | 84.1% | 90% |
| ⑤ 保育所給食で使用する食材のうち、地場産品を活用する割合（重量ベース） | 52.2% | 62% |
| ⑥ 学校給食で使用する食材のうち、地場産品を活用する割合（食材数ベース） | 49.2% | 60% |
| | 50.1% | 60% |
| | 45.3%（H29年度値） | 55% |
| | 40.5%（H28年度値） | 50% |

＜今後の方向性＞

- ・関係者と連携し、高知の食（食材・食文化）を伝承・継承します。
- ・食事の作法や日本ならではの食文化などを次世代へ伝承・継承します。
- ・地元委の街路市への呼び直しと掘り起こしを行います。
- ・地産地消の推進のために直売所の活動を支援します。
- ・保育所や学校などでの地場産品の活用を推進します。
- ・給食に高知ならではの食材や郷土料理を取り入れ、子どもたちに高知の食のよさを、豊かさを伝えていきます。

| 取組名 | 内容 | 関連する目標（指標） | ライフステージ（主な対象者） 妊産婦 乳幼児 学童 青少年 成人 高齢者 | 関係団体 | 令和3年度実施状況 | 令和3年度実績 |
|-------------------------------|--|------------|---|------------------|-----------|--|
| 1 給食を媒体とした食育活動 | 行事食、高知ならではの料理や食材、地域食材を給食で提供する。 | ② | ○ | 保育幼稚園課 | 計画どおり実施 | 日々の給食で実施 |
| 2 給食日より等での周知・啓発 | 保護者に行事食、高知ならではの料理や食材、地域食材やその調理方法等を紹介する。 | ②③ | ○ | 保育幼稚園課 | 計画どおり実施 | 給食で取り入れながら食育メモにて周知（行事食）5・9・12・1・2・3月号（旬食材・県産食材）4・5・7・10・12・2月号 給食室だより8・11月号（旬食材・県産食材） |
| 3 給食での地場産品の活用推進 | 保育所給食での地場産品の活用を推進する。 | ⑤ | ○ | 保育幼稚園課 | 計画どおり実施 | ＜130年度実績＞市立保育所：47.2% |
| 4 食育実践発表会【再】 | 全国学校給食週間にあわせ、高知市立学校における食育や、学校給食についての紹介するイベントを開催し、市民・学校・家庭・地域への啓発を行う。 | ①②③ | ○ | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 令和4年1月16日（土）～16日（日）オナーピア、入場者数：954人 |
| 5 夏休み親子料理教室 | 小学5年生児童とその保護者を対象に、高知の食べ物で血縁料理を作る。 | ①②③ | ○ | 教育政策課 | 中止 | 料理教室は中止、調理動画を作成し、HPに掲載 令和2年度、令和3年度対象者へレンドを配付した |
| 6 小中学校食育・地場産品活用推進事業（体験学習）【再】 | 地域や関係団体と連携し、食育体験学習を行い、食べ物や生産等にかかわる人々への感謝の心を育てることや、体験を通して地域の産物の特色や食文化について学ぶ。 | ①②③④ | ○ | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 24校、33回 |
| 7 小中学校食育・地場産品活用推進事業（血縁料理モデル校） | 小学4年生を対象として、モデル校の指定を行い、血縁料理の授業と血縁給食を実施する。 | ①②⑥ | ○ | 教育政策課 | 中止 | 事業は中止したが、栄養教諭等配置校では、各学校の自由 献立として血縁給食を実施。 |
| 8 高知の食べものいっぱいっ ちゅう日 | 毎月1回、地場産物活用割合50%以上（食材数ベース）を目指した献立を実施する。 | ①②⑥ | ○ | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 61.5%（小中学校統一献立実施分） |
| 9 自由献立の実施 | 学期に1回の自由献立の日を学校給食における「地産地産の日」として、収穫等の体験学習や食育の心をつなぐ食材を取り入れることにより、学校の特色を活かした給食を実施する。 | ①②⑥ | ○ | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 地産地産献立：食材数で42.6% |
| 10 高知家のカレー | 毎年6月に地元産、県内産の食材を積極的に取り入れたカレーライス献立を提供する。 | ①②⑥ | ○ | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 毎年、統一献立、学校給食センター献立で実施100% |
| 11 だしで味わう和食の日【再】 | 11月に地元産、県内産の食材を積極的に取り入れ、だしを味わうことができるすまし汁等の献立を提供する。 | ①②⑥ | ○ | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 毎年、統一献立、学校給食センター献立で実施100% |
| 12 「あの魚屋さんかやがって来た」料理体験教室 | 地域の産物等の従事者を講師に招き、県内の水産物に関する学習と水産物の調理実習を行う。 | ①②④ | ○ | 教育政策課 県学校給食会 | 計画どおり実施 | 小学校2校 |
| 13 給食に活用した地場産品の紹介 | 給食に使用した地場産品に関する指導資料を作成し、給食放送等で児童生徒等に啓発する。 | ①②⑥ | ○ | 教育政策課 | 計画どおり実施 | 給食に使用した地場産品に関する指導資料を作成し、給食放送等で児童生徒等に啓発を行った |
| 14 農業体験学習推進事業 | 農業（酪農）体験学習を実施する。 | ② | ○ | 農林水産課 | 変更して実施 | 1校、児童：53名 |
| 15 学校給食用食材生産支援事業 | 農業者が取り組む学校給食用食材の生産経費に対する助成を実施する。 | ②⑥ | ○ | 農林水産課 | 計画どおり実施 | 44千円 |
| 16 有機市民農園管理運営事業 | 有機市民農園を通じて食の安全や環境保全への取組について関心をもってもらいたい。 | ① | ○ | 農林水産課 | 計画どおり実施 | 48区画 |
| 17 水産業技術改良普及事業 | 魚食普及推進事業等に取り組み高知地区漁業改良協議会に対して助成を実施する。 | ① | ○ | 農林水産課 | 中止 | 0千円 |
| 18 食をテーマに含むイベント事業への補助 | おきややくや血縁料理などをテーマとしたイベントへの開催補助を行い、イベントを通じて高知の食の豊かさをPRする。 | ①②④ | ○ | 観光振興課 | 変更して実施 | 土佐の豊穡祭（高知市会場）・土佐の「おきやく」に対する高知市観光振興事業補助金 ：開催及び感染症拡大防止策に対し補助金額の上乗せを行った ・令和3年8月20日（金）～9月26日（日）の38日間、 令和4年1月26日（水）～2月28日（月）の34日間は感染症拡大防止策のため一時休業 ・観の薫焼きたたきコース参加者数：7人（～令和4年3月末） |
| 19 観光客を対象としたまち歩きガイド事業 | 「龍馬の生誕地まち歩き～土佐っ歩～」における「観の薫焼きたたきコース」で、参加者に観の薫焼きたたきを体験していただく。 | ①③ | ○ | 観光振興課 | 変更して実施 | ・令和3年8月20日（金）～9月26日（日）の38日間、 令和4年1月26日（水）～2月28日（月）の34日間は感染症拡大防止策のため一時休業 ・観の薫焼きたたきコース参加者数：7人（～令和4年3月末） |
| 20 街路市活性化推進事業 | 地元客向けリーフレット等を作成し、配布する。 | ① | ○ | 産業政策課 | 計画どおり実施 | 2万部を作成し、日曜市内やホテル、観光施設などで配布 |
| 21 街路市活性化構想推進事業 | 食を通じて飲食店との連携事業を実施する。 | ① | ○ | 産業政策課 | 計画どおり実施 | 商工振興課のTSUNAGUMARUマーケットに出店 |
| 22 街路市活性化構想推進事業 | 小学校の授業や教材を通じて、街路市文化を伝承する。 | ② | ○ | 産業政策課 | 中止 | 新型コロナウィルス感染症拡大により、実施せず |
| 23 街路市活性化構想推進事業 | 高知商業高校や高知大学等の日曜市での活動への協力等を実施する。 | ③ | ○ | 産業政策課 | 計画どおり実施 | 高知商業高校販売体験：12回 （出店者店舗での販売体験は中止）： 高知県立農業大学校販売体験：1回 とさ自由学校販売体験（木曜市）：1回 |
| 24 ヘルスマイトによる郷土料理講習会等への協力 | 学校における血縁給食や家庭科授業に協力し、郷土料理の作り方等を伝える。 | ③ | ○ | 健康増進課 食育推進委員会 | 計画どおり実施 | 開催数：3回、参加者数：235人 |

| 関連する目標 (指標) | 現状値 (平成30年度) | | 目標値 (令和5年度) | |
|--|--------------|------|-------------|------|
| | 93.1% | 100% | 98% | 100% |
| ① 栽培活動を含む農林漁業体験活動に取り組む 保育所・幼稚園・認定こども園・学校の割合 | 93.1% | 100% | 98% | 100% |
| ② 高知の食を豊かだと思う市民の割合 | 87.0% | 92% | 92% | 92% |
| | 82.9% | 93% | 92% | 93% |
| | 83.9% | | | |

＜今後の方向性＞

- ・農林漁業体験学習の取組を支援します。
- ・学童農園の取組を支援します。
- ・イベントや体験学習を通じて、生産者と消費者の交流を促す取組を支援します。
- ・栽培活動を通じ、農作物への興味や関心を育てます。

| 取組名 | 内容 | 関連する目標 (指標) | ライフステージ (主な対象者) | | | | 所管課 関係団体 | 令和3年度 実施状況 | 令和3年度実績 |
|------------------------------|--|-------------|-----------------|-------------|----------------|--------------|-----------------|--|---------|
| | | | 妊産婦 (胎児) | 乳幼児 (幼児) | 学童・思春期 (児童) | 青年期 (青少年) | | | |
| 1 保育所における栽培活動 | 保育所での栽培活動を通じ、農作物への興味や関心を育てる。 | ① | | ○ | | | 保育幼稚園課 | 計画どおり実施 日々の保育で実施 | |
| 2 クッキング保育 | 保育所で栽培したもの等を調理し、共食することで、食への興味や関心を育てる。 | | | ○ | | | 保育幼稚園課 | 取組内容の見直し 市立保育所・幼稚園：18園、延べ41回 | |
| 3 小中学校食育・地場産品活用推進事業(体験学習)【再】 | 地域や関係団体等と連携し、食育体験学習を行い、食べ物や生産等にかかわる人々への感謝の心を育てることや、体験を通して地域の産業の特色や食文化について学ぶ。 | ① | | ○ | | | 教育政策課 | 計画どおり実施 24校、33回 | |
| 4 収穫体験事業 | 小学校対象。種まきから収穫までの農業体験等を通じ、生産者への理解と感謝の気持ちを育む。 | ① | | ○ | | | 教育政策課 市学校給食会 | 計画どおり実施 小学校2校 | |
| 5 「あの魚屋さんがやっていた」料理体験教室【再】 | 地域の産物等の従事者を講師に招き、県内の水産物に関する学習と水産物の調理実習を行う。 | ①② | | ○ | | | 教育政策課 県学校給食会 | 計画どおり実施 小学校2校 | |
| 6 学校における食に関する指導の推進【再】 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進する。 | ①② | | ○ | | | 教育政策課 学校教育課 | 計画どおり実施 小学校：100%、中学校：100% 計画どおり実施 小学校：100%、中学校：100% | |
| 7 農業体験学習推進事業 | 農業(酪農)体験学習を実施する。 | ① | | ○ | | | 農林水産課 | 変更して実施 1校、児童：53名 | |
| 8 学校給食食材生産支援事業 | 農業者が取り組む学校給食食材の生産経費に対する助成を実施する。 | ② | | ○ | | | 農林水産課 | 計画どおり実施 44千円 | |
| 9 有機市民農園管理運営事業 | 有機市民農園を通じて食の安全や環境保全への取組について関心をもっていただく。 | ①② | | ○ | ○ | ○ | 農林水産課 | 計画どおり実施 48区画 | |
| 10 水産業技術改良普及事業 | 魚食普及推進事業等に取り組む高知地区漁業改良協議会に対して助成を実施する。 | ①② | | ○ | ○ | ○ | 農林水産課 | 中止 0千円 | |

| 関連する目標 (指標) | 現状値 (平成30年度) | 目標値 (令和5年度) |
|--|-------------------------|-------------------|
| ① 「食育」の取組をしている市民の割合 高知ならではの料理や食材、食べ方などを、次世代に伝えていくことを大切だと思ふ市民の割合 | 98.1% | 100% |
| ② 地域の人や家族と高知の食を楽しむ市民の割合 | 84.1% | 90% |
| ③ 高知市食育推進計画に基づき、連携・協働して食育活動に「こうちし食育やるぞねっつ」登録団体数 | 52.2% 49.2% 50.1% | 62% 60% 60% |
| ④ 高知市食育推進計画に基づき、連携・協働して食育活動に「こうちし食育やるぞねっつ」登録団体数 | 10 団体 | 15 団体 |

<今後の方向性>

- ・こうちし食育やるぞねっつによる連携・協働の活性化をすすめます。
- ・地域の伝統行事など、地域文化に触れる体験や学習などの事業を企画検討します。
- ・コミュニケーションや豊かな食体験にもつながる共食の機会の仕組みづくりをすすめます。

| 取組名 | 内容 | 関連する目標(指標) | ライフステージ (主な対象者) | 所管課 関係団体 | 令和3年度 実施状況 | 令和3年度実績 |
|-------------------------------|---|------------|---------------------------------|----------------------------|---------------|---|
| 1 こうちし食育やるぞねっつによるネットワークの構築 | 高知市食育推進計画に基づき、食育の推進に取り組む団体・個人が「こうちし食育やるぞねっつ」に登録し、それぞれの取組についての情報を発信することにより、関係者の連携・協働による食育の推進を図る。 | ④ | 妊産婦 乳幼児 学童・思春期 青年期 成人期 高齢期 (除く) | 食育推進委員会 | 中止 | 登録団体数：12団体 (1団体増) 情報交換会：新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 |
| 2 食育だより「わたしから始まる高知の食育」による情報発信 | 高知市食育推進委員が毎月19日の食育の日に、食育だより「わたしから始まる高知の食育」を発行し、高知市ホームページ、庁内掲示板、高知市役所食育で情報発信を行う。 | ③ | | 食育推進委員会 | 計画どおり実施 | Vol.109～Vol.120 発行 |
| 3 ふれあい給食事業 | 小学校・義務教育学校を対象に、生産者、給食物資納入業者、学校給食調理員等と給食を食べながら、食の大切さを学ぶ。 | ③ | | 教育政策課 市学校給食会 | 中止 | 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 |
| 4 食育推進支援事業 (食事提供活動支援事業) | 小中学校において、朝食提供を行うボランティアに対し、食料等の支援を行う。 | ①④ | | 教育政策課 県教育委員会 | 計画どおり実施 | 小学校1校 |
| 5 市民学校・成人講座・市民講座 | 公立公民館で開催される料理教室等を通じて、地域住民同士、学び合い、教え合いながら教養の向上を図るとともに、地域の仲間づくりにつなげる。 | ③ | | 文化振興課 | 変更して実施 | 開催数：10回 (新型コロナウイルス感染症拡大のため)中止：4回 |
| 6 世代間交流ふれあい事業 | 公立公民館で開催される親子料理教室や餅つき体験を通じて、親子のふれあいや地域との交流を図り、相互の理解を深める。 | ②③ | | 文化振興課 | 変更して実施 | 開催数：2回 中止：2回 (新型コロナウイルス感染症拡大のため) |
| 7 地域での食を通じたイベントの開催 | 市民と行政のパートナーシップにより本市が支援する地域内連携協議会等が、地域での食の集いの場(子ども食堂など)における世代間交流を推進する。 | | | 地域コミュニティ推進課 地域内連携協議会等 | 中止 | 地域が主体となつて地域コミュニティ推進等に取り組み活動のうち、食に関するもの。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 |
| 8 地域での食の集いの場における世代間交流の推進 | 市民と行政のパートナーシップにより本市が支援する地域内連携協議会等が、地域での食の集いの場(子ども食堂など)における世代間交流を推進する。 | | | 地域コミュニティ推進課 地域内連携協議会等 | 変更して実施 | 地域が主体となつて地域コミュニティ推進等に取り組み活動のうち、食に関するもの。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない地域あり。 |
| 9 ヘルスメイト育成・養成事業 | 食を通じたボランティア活動に取り組む食生活改善推進員を育成・養成する。 | ①③ | | 健康増進課 | 変更して実施 | 育成研修は人数制限、養成研修は調理実習の方法を変更して実施。 ヘルスメイト会員数：120人 (令和4年1月現在) |
| 10 口から始める食育推進事業 | 高知学園短大の学生実習と、市教育委員会、市保健所が連携して小中学校でのかむことの影響と歯肉炎予防のための歯科保健活動を行う。 | ①③ | | 健康増進課 学校教育課 高知学園短期大学 | 変更して実施 | 実習は中止とし、講義形式での指導を実施した。 小学校17校、中学校4校 |
| 11 第3次高知市食育推進計画の周知・啓発 | 第3次高知市食育推進計画について啓発し、計画に基づいて、連携・協働による食育推進を図る。 | ④ | | 健康増進課 食育推進委員会 | 計画どおり実施 | ・ホームページによる情報発信 ・高知市役所食堂、オーテピアにおける啓発 ・食育実践発表会における啓発 ・イベント等(スポーツイベント、防災講座)での啓発 ・啓発媒体の作成 |
| 12 関係企業との連携・協働による取組 | 高知市食育推進計画に基づき、協働で取り組んでいただける企業とともに、市民への啓発等の取組を行う。 | | | 健康増進課 食育推進委員会 | 計画どおり実施 | ・高知市役所食堂との連携・協働により、店舗において、第3次高知市食育推進計画に基づいた情報発信・啓発活動を実施。 ・高知市役所食堂で、実習生が作成した媒体による、若い世代を意識した啓発を実施。 |

令和4年度 取組状況

(1)健康なこころと身体のための食育

①基本的な食習慣を身につけるための取組



| 取組名 | 内容 | 所属団体 | 令和3年度の実績 | 方向性 | 令和4年度の予定 取組方法等 |
|----------------------------|--|----------------------|--|----------|---|
| 1 幼児健診での普及啓発 | 幼児健診会場で、早寝早起き朝ごはんの大切さをパネルやリーフレットを用いて周知する。 | 母子保健課 | 1.6児健診：34回(1,827人受診), 3歳児健診：38回(1,835人受診) | 継続 | 1.6児健診：41回, 3歳児健診：41回 |
| 2 妊産婦子育て相談はぐくみ(育児相談) | 妊産婦、子どもに関する個別相談に対応する。 | 母子保健課 | 妊産婦子育て相談はぐくみ：11回 | 継続 | 妊産婦子育て相談はぐくみ：24回 |
| 3 母子手帳交付時面接 | 母子手帳窓口交付時に、食生活について聞き取り、必要時、栄養士相談につなげる。 | 母子保健課 | 窓口面接率：100% | 継続 | 妊産婦出時全数面接 |
| 4 離乳食教室 | 初めての食べ物と出会いとなる離乳食を通して、口の発達に応じた食べ方や、段階に応じた離乳食の試食(保護者)をすることによって、食生活の大切さを理解する。 | 母子保健課 | 総合あんしんセンター：6回 保健福祉センター：2回 東部健康福祉センター：1回 | 継続 | 総合あんしんセンター：12回 保健福祉センター：3回 東部健康福祉センター：3回 |
| 5 食に関する指導計画を作成し、実践する。 | 食に関する指導計画を作成し、実践する。 | 保育幼稚園課 | 保育所：100% | 継続 | |
| 6 保護者への啓発 | 園だより、給食だより、ほげんだより等を通じて「朝食を食べること」の大切さを啓発する。 | 保育幼稚園課 | 食育メモ4・3月号 ほげんだより2月号 | 継続 | |
| 7 イベントでの保育所給食の紹介 | 食育実践発表会等で、保育所の取組を通じ、共食の大切さ等について啓発する。 | 保育幼稚園課 | 食育実践発表会に展示コーナーとして参加 | 継続(条件付き) | 新型コロナウイルス感染症の流行状況により、体験コーナーの実施は検討する。 |
| 8 学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導 | 原産生徒への食に関する指導やPTA対象の試食会の機会を通して、栄養パランスのとれた望ましい食事について啓発する。 | 教育政策課 | 給食回数：小学校200回、中学校196回 給食試食会：1校/14人参加 | 継続 | 給食回数：小学校199回、中学校196回 給食試食会：校/人参加 |
| 9 小中学校食育・地域産品活用推進事業(体験学習) | 地域や関係団体等と連携し、食育体験学習を行い、食べ物や生産等にかかわる人々への感謝の心を育てることや、体験を通して地域の産品の特色や食文化について学ぶ。 | 教育政策課 | 24校、33回 | 継続 | 26校、40件 |
| 10 学校における食に関する指導の推進 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進する。 | 教育政策課 学校教育課 | 小学校：100%、中学校：100%、義務教育学校100% | 継続 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用した食に関する指導の推進。 体育科、保健体育科、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進。 |
| 11 保健だより、給食だより等による啓発 | 保健だより、給食だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | 教育政策課 学校教育課 | 月1~2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行った | 継続 | 月1~2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行う。 本と健康に関する内容を季節や行事など時期を捉えて、児童生徒や保護者へ発信していく。 |
| 12 9年間の食に関する指導案の作成 | 小学1年生から中学3年生までの食に関する指導の学習指導案を作成し、学校で活用する。 | 教育政策課 | 指導案全学年分完成 | 継続 | 内容(資料等)について検討。 |
| 13 食育実践発表会 | 全市学校発連連員あわせ、高知市立学校における食育や、学校給食について紹介するイベントを開催し、市民・学校・家庭・地域への啓発を行う。 | 教育政策課 | 令和4年1月15日(土)~16日(日) オーテピア、入場者数：954人 | 継続 | 令和5年2月23日(木) オーテピアにて開催予定。 |
| 14 だして味わう和食の日 | 11月に地元産、県内産の食材を積極的に取り入れ、だしを味わうことができずまし汁等の献立を提案する。 | 教育政策課 | 毎年、統一献立、学校給食センター献立で実施100% | 継続 | 統一献立、学校給食センター献立で実施。 |
| 15 冬の親子料理教室 | 小学4年生児童とその保護者を対象に、学校給食で人気の高い献立を作る。 | 教育政策課 | 料理教室は中止 実施予定のレシピを対象者へ配付した | 継続 | 開催予定(日時は未定)。 |
| 16 食育推進支援事業(食事提供活動支援事業) | 小中学校において、朝食提供を行うボランティアに対し、食材等の支援を行う。 | 教育政策課 県教育委員会 | 小学校1校 | 継続 | 小学校1校 |
| 17 健康講座(出前講座) | 広聴広報課発信の「あなたに届け隊出前講座」において、申込団体に健康教育を実施する。 | 健康増進課 | 開催数：22回/参加者数：395人 | 継続 | 申込み団体に実施する。栄養パランスのとれた食事と合わせ高血圧の健康影響・減塩の重要性について啓発する。開催数25回実施予定。 |
| 18 口からはじめる食育推進事業 | 小学校での歯科保健指導の実施前後に「食と生活のアンケート」を実施し、アンケートにて朝食の摂取状況を確認する。 | 健康増進課 | *コロナの影響で歯科保健指導中止校あり 朝食をほとんど毎日食べる小学生の割合：98.2% 朝食を誰かと食べる小学生の割合：64.5% | 継続 | 高知市短期大学学生指導を講義形式で実施。 指導の実施前後にアンケートを実施し、朝食の摂取状況について確認する。 |
| 19 ヘルスマイトによる啓発活動 | 本市が養成している食生活改善推進員(ヘルスマイト)が実施する講習会において「主食・主菜・副菜をそろえて食べること」の大切さを啓発する。 | 健康増進課 市食生活改善推進協議会 | 開催数：48回/参加者数：511人 | 継続(条件付き) | 地域での啓発時は、調理実習なしの講習会とし、講話とレシピの紹介を行い、配布教材を活用し家庭での実践を促す。また、イベントや健診の機会にはチラシやパンフレットやモデルを用いた啓発を行う。 |
| 20 ヘルスマイトによる啓発活動 | ヘルスマイトが実施する講習会において「朝食を食べること」の大切さを啓発する。 | 健康増進課 市食生活改善推進協議会 | 開催数：54回/参加者数：757人 | 継続(条件付き) | 地域での啓発時は、調理実習なしの講習会とし、講話とレシピの紹介を行い、配布教材を活用し家庭での実践を促す。また、イベントや健診の機会にはチラシやパンフレットやモデルを用いた啓発を行う。 |
| 21 ヘルスマイトによる啓発活動 | 健康増進課実施の女性健診において、ヘルスマイトが若い世代の女性にに対し、栄養パランス・朝食の大切さなどの啓発を行う。 | 健康増進課 市食生活改善推進協議会 | 開催数：2回/参加者数：85人 | 継続(条件付き) | チラシや朝食に適した簡単レシピを用いた啓発を行う。 8月・10月・12月・2月の4回の実施予定。 |

＜今後の方向性＞
 ・朝食の大切さの啓発を行います。
 ・栄養パランスの基本である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の啓発を行います。
 ・共食の大切さの啓発を行うとともに、共食の機会をつくります。
 ・ライフステージに応じた啓発を行います。特に、若い世代(20~30歳代)を重点に取り組みます。
 ・ライフスタイルに配慮した啓発を行います。

令和4年度 取組状況

＜今後の方向性＞

- ・健康づくりや生活習慣病の予防・疾病管理のために、減塩、適正飲酒について啓発を行います。
- ・バランスよく食べるために、主食・主菜・副菜の組み合わせや、野菜の摂取について啓発を行います。
- ・ゆくゆくよりかかんで食べるための効果について啓発を行います。
- ・関係機関との協働により、健康づくりや生活習慣の改善に取り組みの取組を行います。

2 生活習慣病を予防するための取組

| 取組名 | 内容 | 所管課 関係団体 | 令和3年度の実績 | 方向性 | 令和4年度の予定 取組方法等 |
|--|---|----------------------|---|--------------|--|
| 1 パパママ教室 | 食生活バランスチェックを行い、毎日の食事を見直してもらおう。 | 母子保健課 | 開催数：5回、71組参加。 新型コロナウイルス感染症対策の為、SAT システムの利用を中止したが個別対応した。 | 継続 | 北部子育て世代包括支援センター：6回 西部子育て世代包括支援センター：6回 東部子育て世代包括支援センター：6回 |
| 2 学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導の推進【再】 | 児童生徒への食に関する指導やPTA対象の試食会の機会を通して、栄養バランスのとれた望ましい食事について啓発する。 | 教育政策課 | 給食回数：小学校200回、中学校196回 給食試食会：1校/14人参加 | 継続 | 給食回数：小学校199回、中学校196回 給食試食会：校/1人参加 |
| 3 学校における食に関する指導の推進【再】 | 体育科、保健体育科、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進する。 | 教育政策課 学校教育課 | 小学校：100%、中学校：100%、義務教育学校100% | 継続 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用した、食に関する指導の推進。 |
| 4 保健だより、給食だより等による啓発【再】 | 保健だより、給食だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | 教育政策課 学校教育課 | 1～2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行った | 継続 | 1～2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行う。 |
| 5 9年間の食に関する指導案の作成【再】 | 小学1年生から中学3年生までの食に関する指導の学習指導案を作成し、学校で活用する。 | 教育政策課 | 指導案全学年分完成 | 継続 | 内容（資料等）について検討。 |
| 6 健康講座（出張講座） | 広域広域連携の「あなたに届け出張講座」において、申込団体に健康教育を実施する。 | 健康増進課 | 開催数：22回/参加者数：395人 | 継続 | 申込み団体に申し実施。栄養バランスのとれた食事と合わせ高血圧の健康影響・減塩の重要性について啓発する。開催数25回実施予定。 |
| 7 健康相談（出張相談） | いきいき健康チャレンジPRイベント等、量販店に出向き、相談および啓発を実施する。 | 健康増進課 | 開催数：5回/参加者数：76人 | 継続 | いきいき健康チャレンジ協力団体を中心に実施予定。 |
| 8 女性健康結果説明会 | 健康結果を返す際に説明会を開催し、健康増進や生活習慣病の発症・重症化予防の講座を行う。 | 健康増進課 | 開催数：2回/参加者数：18人 | 継続 | 減塩ターゲットモデル・チランの活用し啓発する。また新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、塩分減量減塩ターゲットを実施する。年4回（9月、11月、R5年1月、3月）実施予定。 |
| 9 いきいき健康チャレンジ関連イベント（スタートイベント・応援講座・結果報告会） | 関係団体（高知県栄養士会・ヘルスマイト・協会けんぽ）と連携して、健康増進の観点から栄養バランスや減塩について普及・啓発を行う。 | 健康増進課 | スタートイベント中止 応援講座：開催数1回/参加者数：56人 | 継続 | スタートイベント（5/29）、応援講座（栄養編7/18）、結果報告会（R5年2/12）実施予定。 |
| 10 生活習慣病予防に関する協議会 | 生活習慣病の予防対策を推進するため、関係機関と具体的な方策について協議し、啓発活動や環境づくり等の取組につなげる。 | 健康増進課 | 協議会は1回実施。高血圧対策について協議した。 | 継続 | 年2回（5月、12月）開催予定。 |
| 11 ヘルスマイトによる啓発活動【再】 | ヘルスマイトが実施する講習会において「主食・主菜・副菜をそろえて食べること」の大切さを啓発する。 | 健康増進課 市食生活改善推進協議会 | 開催数：48回/参加者数：511人 | 継続 （条件付き） | 地域での啓発時は、調理実習なしの講習会とし、講話とレシピの紹介を行い、配布教材を活用し家庭での実践を促す。また、イベントや健診の機会にはチラシやフードモデルを用いた啓発を行う。 |
| 12 ヘルスマイトによる野菜料理レシピの啓発活動 | ヘルスマイトが考案した高知食材を使用した野菜料理レシピを用いて、「野菜を食べること」の大切さを啓発する。 | 健康増進課 市食生活改善推進協議会 | 開催数：1回/参加者数：100人 | 継続 （条件付き） | 地域での啓発時は、調理実習なしの講習会とし、講話とレシピの紹介を行い、配布教材を活用し家庭での実践を促す。また、イベントや健診の機会にはチラシやフードモデルを用いた啓発を行う。 |
| 13 ヘルスマイトによる啓発活動 | ヘルスマイトが実施する講習会において、減塩に関する内容を盛り込み、啓発を行う。 | 健康増進課 市食生活改善推進協議会 | 開催数：5回/参加者数：110人 | 継続 （条件付き） | 朝食・バランス・低栄養予防を主目的とする講習会レシジは減塩の観点で作成されていることから、正確な計量による減塩を啓発する。また、天然だしの旨味を利用し薄味を意識することを啓発する。 |
| 14 ヘルスマイトの料理実習 | 結婚を考える20歳代～40歳代の男女の出会いイベントを通して、健康的な生活習慣や食生活を伝えるとともに、料理経験の少ない若い世代の食生活の自立を促す。 | 健康増進課 市食生活改善推進協議会 | 中止 | 検討中 | 参加者が調理実習、試食を通じて交流することが目的となる取組みであるため、感染症の状況によっては実施が難しい可能性があるが、実施について検討中 |
| 15 特定健康診査・特定健康指導 | 40～74歳の高知市国民健康保険者にメタボリックシンドローム（通称：メタボ）を目的とした健診・保健指導を実施する。 | 保険医療課 | ＜令和2年度実績＞ ※令和2年度法定報告値より 特定健康診査受診率：31.4% 特定保健指導実施率：31.3% | 継続 | 特定健康診査受診券を6月に発送 |
| 16 高知市国民健康保険者健康診査・保健指導 | 39歳の高知市国民健康保険者にはじめとする生活習慣病の早期発見・早期予防を目的とした健診・保健指導を実施する。 | 保険医療課 | 若年者健康診査受診者：59名 医療機関受診勧奨通知：4名 | 継続 | 実施予定（日程は未定） |

令和4年度 取組状況

- <今後の方向性>
- ・「低栄養」について、知識や理解の普及啓発を行います。
 - ・若い女性の栄養状態が、次世代への健康につながることを啓発を行います。
 - ・食の機会を通じた集いの場づくりを推進します。

3.低栄養を予防するための取組

| 取組名 | 内容 | 所属課 関係団体 | 令和3年度の実績 | 方向性 | 令和4年度の実績 取組方法等 |
|----------------------------------|---|----------------------|--|--------------|--|
| 1 パパママ教室【再】 | 食生活バランスチェックを行い、毎日の食事を見直してもらう。 | 母子保健課 | 開催数：5回、71組参加。 新型コロナウイルス感染症対策の為、SAT システムの利 用を中止したが個別対応した。 | 継続 | 北部子育て世代包括支援センター：6回 西部子育て世代包括支援センター：6回 東部子育て世代包括支援センター：6回 |
| 2 中学生に対する食に関する指導の推進 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進する。 | 教育政策課 学校教育課 | 中学生：100% | 継続 継続 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時 間等を活用した。食に関する指導の推進。 保健体育、家庭科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用した。食に関する指導の推進。 |
| 3 学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導の推進【再】 | 児童生徒への食に関する指導やPTA対象の試食会の機会を通して、栄養バランスのとれた望ましい食事について啓発する。 | 教育政策課 | 給食回数：小学校200回、中学校196回 給食試食会：1校/14人参加 | 継続 | 給食回数：小学校199回、中学校196回 給食試食会：1校/1人参加 |
| 4 保健だより、給食だより等による啓発【再】 | 保健だより、給食だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | 教育政策課 学校教育課 | 月1～2回保健だより、給食だより等を配付し、啓発を行った | 継続 継続 | 月1～2回保健だより、給食だより等を配付し、啓発を行う。 食と健康に関する内容を季節や行事など時期を捉えて、児童生徒や保護者へ発信していく。 |
| 5 健康講座 いきいき百歳体操サポーター養成 | 高齢期における低栄養予防の意識づくりなど、介護予防事業を展開する。 | 基幹型 地域包括支援センター | 地域の健康講座16回/340人 サポーター養成1回/15人 ※新型コロナウイルス感染症拡大により、支援回数や規模縮小 | 継続 | 普及啓発に努め、地域からの依頼に応じて健康講座を開催。 サポーター養成教室3回/年間開催予定 |
| 6 低栄養予防プログラム | 高齢期における低栄養予防の意識づくり、低栄養にならない食習慣の獲得。 | 基幹型 地域包括支援センター | いきいき百歳体操の12会場（4回コース/会場）で試行的に実施 開催会場：12会場（支援回数47回）/延べ参加者数：766人 ※令和3年度分の支援残り1回あり ※新型コロナウイルス感染症拡大により、支援回数や規模縮小 | 継続 | 体操会場への普及啓発に努め、体操会場からの依頼に応じて3か月（4回コース）のプログラムを実施。 目標：各地域包括支援センター（14地域包括支援センター）1か所以上 |
| 7 健康講座（出席講座）【再】 | 広聴広報課発行の「あなたに届け隊出勤講座」において、申込団体に健康教育を実施する。 | 健康増進課 | 開催数：22回/参加者数：395人 | 継続 | 申込団体に実施する。栄養バランスのとれた食事と合わせ高血圧の健康影響・就寝の重要性について啓発する。開催数25回実施予定。 |
| 8 女性健診・結果説明会 | 健診や結果説明会の際に、貧血予防の啓発や保健指導を実施する。 | 健康増進課 | 開催数：2回/参加者数：18人 | 継続 | 減塩タペストリーやフードモデル、チラシの活用し啓発する。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、塩分味覚域チェックを実施する。年4回（9月、11月、1月、3月）実施予定。 |
| 9 ヘルスマイトによる啓発活動 | ヘルスマイトが実施する講習会において、「低栄養予防」の啓発を行う。 | 健康増進課 市食生活改善推進協議会 | 開催数：43回/参加者数：507人 | 継続 (条件付き) | 地域での啓発時は、調剤実習などの講習会とし、講話とレシピの紹介を行い、配布教材を活用し家庭での実践を促す。また、イベントや健診の機会にはチラシやフードモデルを用いた啓発を行う。 |
| 10 ヘルスマイトによる啓発活動【再】 | 健康増進課実施の女性健診において、ヘルスマイトが若い世代の女性に対し、栄養バランス・朝食の大切さなどの啓発を行う。 | 健康増進課 市食生活改善推進協議会 | 開催数：2回/参加者数：85人 | 継続 (条件付き) | チラシや朝食に適した簡単レシピを用いた啓発を行う。 8月・10月・12月・2月の4回の実施予定。 |

令和4年度 取組状況

＜今後の方向性＞

- ・子どもの口の発達に応じた食べ方の啓発を行います。
- ・口の機能や口呼吸の改善のために口の体操を普及します。
- ・しっかりとよくかんで食べるのが歯の健康や生活習慣病予防と関係するとの啓発を行います。
- ・「かかりつけ歯科医」をもち、口の健康管理をすることを継続して啓発します。
- ・ライフステージに応じた啓発を行います。

4歯と口の健康のための取組

| 取組名 | 内容 | 所管課 関係団体 | 令和3年度の実績 | 方向性 | 令和4年度の取組状況 取組方法等 |
|-----------------------------|--|----------------------------|---|----------|--|
| 1 パパママ教室 | 細菌カウンタ（口腔内細菌数チェック）にて、口腔状況を確認する。 | 母子保健課 | 中止 | 中止 | 総合あんしんセンター：12回 保健福祉センター：3回 東部健康福祉センター：3回 |
| 2 離乳食教室や育児講座での普及啓発 | 口腔機能の発達に合わせた離乳食について説明する。 離乳食教室において、細菌カウンタ（口腔内細菌数チェック）にて、保護者の口腔状況を確認する。 | 母子保健課 | 閉催回数：9回 細菌カウンタは中止し、講義内容に保護者の口の健康についての内容を追加。 | 継続 | |
| 3 幼児健診での普及啓発 | 歯磨き、仕上げ磨き、フッ化物活用などの啓発を行う。 子どもの口の発達に合わせた食べ方の啓発を行う。 | 母子保健課 | 1.6児歯科健診：34回、3歳児歯科健診：38回 (1,835人) | 継続 | 1.6児健診：41回 3歳児健診：41回 |
| 4 子育て支援センターでの育児講座 | 歯の健康をテーマとした健康講座を実施する。 子どもの口の発達とむし歯予防についての啓発を行う。 | 母子保健課 | 11か所 | 継続 | |
| 5 保護者への啓発 | 園だより、給食だより、ほげんだより等を通じ、口の発達に応じた食事の提供や、よくかんで食べる等の啓発を行う。 | 保育幼稚園課 | 給食室だより5・7・9・10月号 食育スマホ6・11月号 ほげんだより6・8・11月号 | 継続 | |
| 6 発達に応じた給食の提供 | 口の発達段階に応じた給食や調理形態に配慮した給食の提供を行う。 | 保育幼稚園課 | 日々の給食で実施 | 継続 | |
| 7 歯科口腔健康指導 口からはじめる食育推進事業 | 高知学園短大の学生実習と連携し、小中学校において歯肉炎予防とむし歯とをテーマとした歯科健康教育を実施する。また、健康教育の前後に「食と生活のアンケート」を実施する。 | 学校教育課 健康増進課 | 高知学園短大生による歯科保健指導 小学校17校、中学4校に講話を実施 | 継続 | 小学校3・4年生と中学生を対象に、高知学園短期大学生による講義形式での指導。健康教育前後に「食と生活のアンケート」を実施する。 |
| 8 授業等における歯の健康に関する指導 | 養護教諭、担任、担当教諭による指導を実施する。 | 学校教育課 | 高知市立学校全校で実施 | 継続 | 歯・口の健康づくりについて、歯みがき指導、間食の取り方についても実践的な指導を行う。 |
| 9 かみかみ献立 | 6、10月にかみかみごえたえの食材を多く取り入れた献立を提供する。 | 教育政策課 | 高知市立学校全校で実施 | 継続 | 高知市立学校全校で実施。 |
| 10 保健だより、食育だより等による啓発 | 保健だより、食育だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | 教育政策課 学校教育課 | 高知市立学校全校で実施 | 継続 | 高知市立学校全校で実施。 健康診断や歯と口の健康週間などの行事の機会に、歯・口の健康づくりの意義や意識を高める活動を実施する。 |
| 11 かみかみ百歳体操の普及啓発 | 住民主体の介護予防活動の支援において、口腔機能向上のためのかみかみ百歳体操の普及と実施支援を行う。支援の中で、「かかりつけ歯科医」をもつことについても啓発する。 | 健康増進課 基幹型 地域包括支援センター | 支援回数：34回、健康講座：0回 ※新型コロナウイルス感染症拡大により、支援回数や規模縮小 | 継続 | 体験会場への支援内容に合わせて、継続実施。 |
| 12 放課後児童クラブでの健康講座 | 夏休み期間中の児童クラブで「口の健康とかむこと」について健康講座を開催する。 | 健康増進課 | コロナの影響で中止時期あり 開催数：40回（17校） 参加者数：1,180人 | 継続 | 夏休み期間中の児童クラブで「口の健康とかむこと」について健康講座を開催する。（新型コロナウイルス感染症予防に配慮） |
| 13 出前講座 | 広聴広報課発行の「あなたに届け隊出前講座」において、「歯周病予防」をテーマに申込団体に健康教育を実施する。 | 健康増進課 | 開催数：3回、参加者数：39人 *1回中止 | 取組内容の見直し | 「歯周病予防」「オーラルフレイル予防」に「災害時の口腔ケア」を追加し、申込団体に健康教育を実施する。 |
| 14 歯つばいスマイルフェア | 歯と口の健康週間における歯科啓発イベントを開催する。 （主催：高知市歯科医師会、共催：高知市） | 健康増進課 市歯科医師会 | コロナの影響で中止 | 取組内容の見直し | 「いい歯の日」に合わせて11月にSDGsの取組の一環で歯科啓発イベントを開催する。（高知市、高知市歯科医師会共催） 4月に対象者に受診勧奨ハガキを送付。 申込みに受診券を送付 |
| 15 成人歯周病健診事業 | 個別歯科医療機関における歯周病検査を実施する。 | 健康増進課 | 受診者数：431人（令和4年5月報告分） | 継続 | 子宮頸がん検診と内科健診とセットで歯周病検査と口腔衛生指導を実施する。（年4回） |
| 16 女性健診における歯科健診 | 子宮頸がん検診と内科健診とセットで歯周病検査と口腔衛生指導を実施する。 | 健康増進課 | 3回実施 受診者数：140人 *1回中止 | 継続 | 母子保健課事業の離乳食教室、パパママ教室参加者に集団での保健指導を実施する。 |
| 17 若い世代・働き世代への保健指導 | 母子保健課事業の離乳食教室、パパママ教室参加者の全体の講義の中に歯科の内容を盛り込み、集団での保健指導を実施する。 特定健診や結果説明会で、歯科衛生士による保健指導を実施する。また、協会けんぽは主催の職場の健康づくり応援講座での歯科衛生士による個別指導等を実施する。 | 健康増進課 | コロナの影響で中止時期あり 集団指導（母子保健課事業、結果説明会）：14回 379名 個別指導（結果説明会）：1回 12名 職場の健康づくり応援講座での個別指導：中止 協会けんぽ主催の特定健診での個別指導：中止 | 継続 | 母子保健課事業の離乳食教室、パパママ教室参加者に集団での保健指導を実施する。 保健医兼課主催の特定健診結果説明会で、集団での健康教育と個別指導を実施する。また、協会けんぽは主催の特定健診（保健福祉センター）で、歯科個別指導を実施予定。 スタートイベントで、「からだの健康はお口から」をテーマに講話を実施する。チャレンジ記録ノートに、歯科健診・受診のチェック項目やかむことについての啓発、応援講座や量販店等での普及啓発を実施する。 |
| 18 いきいき健康チャレンジと連携した啓発・保健指導 | スタートイベントで、全身の健康と歯周病について講話を実施する。 チャレンジ記録ノートに、歯科健診、受診のチェック項目やかむことについての啓発、応援講座での個別指導、量販店等での普及啓発を実施する。 | 健康増進課 | スタートイベント、応援講座中止 歯科健診受診者数（チャレンジノート）回答 N=658 個人申込 チャレンジ前：74.0%、チャレンジ後：79.3% | 継続 | |

令和4年度 取組状況

<今後の方向性>

- ・手洗いの大切さの啓発を行います。
- ・食中毒予防の三原則の啓発を行います。
- ・子どもの頃から生活における手洗い等の衛生習慣を意識づけたい。
- ・鶏肉の生食の危険性の普及啓発を継続して行います。
- ・焼肉の際のトンダと箸の使い分けや加熱調理の徹底の普及啓発を継続して行います。
- ・カキなどの二枚貝の生食の危険性の普及啓発を行います。

5 安全な食生活を送るための取組

| 取組名 | 内容 | 所管課 関係団体 | 令和3年度の実績 | 方向性 | 令和4年度の取組状況 取組方法等 |
|-----------------------------|--|----------------|---|----------|---|
| 1 食事前等の手洗いについて声かけ | 子どもの頃から手洗い等の衛生習慣を意識づける。 | 保育幼稚園課 | 日々の保育で実施 | 継続 | |
| 2 保護者への啓発活動 | 園だより、給食だより、ほけんだより等を通じ、衛生習慣についての啓発活動を行う。 | 保育幼稚園課 | 給食室だより5・7・12・2・3月号、食育メモ7・8・12月号、ほけんだより1月号にて手洗い等衛生習慣について啓発 | 継続 | |
| 3 学校給食を生きかた教材として活用した食に関する指導 | 給食準備における手洗い、身支度等に関する指導を通して、衛生的な給食実施に取り組み。 | 教育政策課 | 給食準備における手洗い、身支度等に関する指導を通して、衛生的に給食実施に取り組み | 継続 | 給食準備における手洗い、身支度等に関する指導を通して、衛生的に給食実施に取り組み。 |
| 4 保健だより、給食だより等による啓発 | 保健だより、給食だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | 教育政策課 学校教育課 | 月1～2回保健だより、給食だより等を配付し、啓発を行った | 継続 継続 | 月1～2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行う。 食と健康に関する内容を季節や行事など時期を捉えて、児童生徒や保護者へ発信していく。 |
| 5 広報「あかるいまち」やホームページによる広報 | 広報「あかるいまち」やホームページを活用し、広く市民に食の安全に関する情報を発信する。 | 生活食品課 | あかるいまち 8月：テイクアウトした食品等は早めに食べきりましょう！ 1月：ノロウイルス食中毒に注意！ | 継続 | あかるいまち 年2回広報予定 8月：食品衛生月間 1月：ノロウイルス食中毒 |
| 6 消費者を対象とした食品衛生講習会の開催 | 広報「あかるいまち」やホームページを通じて、児童とその保護者を対象とする食品衛生教室等で、自らを守る食中毒予防に関する正しい知識について普及啓発する。 <健康講座（出前講座）、親子食品衛生教室> | 生活食品課 | 健康講座： 依頼はあったが、先方から開催見合わせ連絡あり中止 親子食品衛生教室：開催見合わせ | 継続 | あなたに届け隊出前講座：くらしと環境「食中毒を予防しよう」 親子食品衛生教室：開催検討中 |
| 7 事業者を対象とした食品衛生講習会の開催 | 事業者を対象とする各種講習会等において、食中毒予防に関する正しい知識等について普及啓発する。 <営業許可証交付講習会、食品衛生責任者養成講習会、事業者・給食関係者等講習会、食品関連事業者の監視指導> | 生活食品課 | 営業許可証交付講習会：22回/981名 食品衛生責任者養成講習会：12回/859名 事業者・給食関係者等講習会：34回/1,043名 食品関連事業者の監視指導：3,115件 | 継続 | |
| 8 食の安全に関するリスクコミュニケーションの開催 | 消費者・事業者・行政が食の安全に関する正確な情報を共有する機会をもつことで、様々な立場でそれぞれ主体的に食の安全への関わりが持てるような正確な情報の共通認識を目指す。 | 生活食品課 | 新型コロナウイルス感染症状況により開催見合わせ | 継続 | |

令和4年度 取組状況

<今後の方向性>

- ・備蓄の必要性について、啓発を行います。
- ・飲料だけでなく主食・副食など備えが充実するよう、備蓄食の内容について、啓発を行います。
- ・子どもの頃から「災害に備える」知識や理解を深めるための啓発を行います。

6 災害に備えるための取組

| 取組名 | 内容 | 所管課 関係団体 | 令和3年度の実績 | 令和4年度の取組状況 | |
|------------------------|---|----------------------|--|--------------|--|
| | | | | 方向性 | 取組方法等 |
| 1 保育所等における備蓄食の確保 | 保育所で被災することを想定し、園児・職員の備蓄食の確保を行う。 | 保育幼稚園課 | 市立保育所 26 園、市立幼稚園 1 園に備蓄食を整備 | 継続 | |
| 2 保育所給食での備蓄食の提供 | 備蓄食を給食として提供・喫食することにより、災害時に備えた取組を行う。 | 保育幼稚園課 | 上記の施設で賞味期限の入れ替えの際に給食として提供し、実際に食べる経験をした | 継続 | |
| 3 防災給食の実施 | 9月に1回実施、災害時の食を通し、災害に備えようとする意識を高める機会とする。 | 教育政策課 | 小学校 37 校、中学校 4 校、義務教育学校 2 校で実施 春日東小・春日西小・特別支援学校は11月に実施 | 継続 | 小学校 39 校、中学校 17 校、義務教育学校 2 校、特別支援学校 1 校で実施。 |
| 4 学校における食に関する指導の推進 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進する。 | 教育政策課 学校教育課 | 小学校：100%、中学校：100% | 継続 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用した、食に関する指導の推進。 月1～2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行う。 |
| 5 保健だより、給食だより等による啓発【再】 | 保健だより、給食だより等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | 教育政策課 学校教育課 | 月1～2回保健だより、給食だより等を配布し、啓発を行った | 継続 | 小学校 39 校、中学校 17 校、義務教育学校 2 校、特別支援学校 1 校で実施。 |
| 6 健康講座（出前講座） | 健康講座において、備蓄の必要性に関する内容を盛り込み、啓発を行う。 | 健康増進課 | 啓発回数：2回 チラシ配布人数：42人 | 継続 | 食と健康に関する内容を季節や行事など時期を捉えて、児童生徒や保護者へ発信していく。 |
| 7 健康相談（出張相談） | いきいき健康チャレンジ PR イベント等、量販店に出向き相談を実施する。 | 健康増進課 | 開催回数：5回／参加者数：76人 | 継続 | 申込み団体に実施予定。備蓄の必要性の内容を盛り込み啓発する。またチラシを配置する。 |
| 8 ヘルスメイトによる啓発活動 | ヘルスメイトが実施する講習会において、備蓄の必要性に関する内容を盛り込み、啓発を行う。 | 健康増進課 市食生活改善推進協議会 | 開催回数：1回／参加者数：80人 | 継続 | いきいき健康チャレンジ PR イベント等、量販店に出向き相談を実施する際に、啓発・情報提供を実施する。 |
| 9 啓発活動 | リーフレットの配布やフェイスタブック、ラジオ等を通じて、災害時における備蓄の啓発を行う。 | 防災政策課 | 講習会や市民からの要望があった際のリーフレット配布やフェイスタブック、ラジオを通じて、災害時における備蓄の啓発を行った。 | 継続 | 調理実習なしの講習会とし、講話とレシビの紹介を行い、配布教材を活用し家庭での実践を促す。また、イベントや健診の機会にはチラシ等での啓発を行う。 |
| 10 自主防災組織による炊き出し訓練の実施 | 発災時、ありあわせの食材を用いて食事を作り、その手順を共有するための訓練を実施している。 | 地域防災推進課 | 実施団体数：34（新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った団体が多くなくなっているもの。） | 継続 （条件付き） | 講習会や市民からの要望があった際のリーフレット配布 フェイスタブック、ラジオを通じて、災害時における備蓄の啓発を行う。 |

令和4年度 取組状況



<今後の方向性>
 ・食品ロスの軽減に関する啓発活動を継続して行います。
 ・食品リサイクルを推進します。

(2)豊かな食を実現するための食育

| 取組名 | 内容 | 所管課 関係団体 | 令和3年度の実績 | | 令和4年度の取組状況 | |
|-----------------------------------|--|-----------------------|----------|---|------------|--|
| | | | 方向性 | 取組方法等 | | |
| 1 園児や保護者への啓発 | 給食日より等を通じ、園児や保護者に食べ残しや食品ロス削減について啓発を行う。 | 保育幼稚園課 | 継続 | 給食日より10月号を通じ、園児や保護者に食べ残しや食品ロス削減について啓発を行った。 | 継続 | 給食の残食量を毎食計量、記録した。給食の残量を少なくする取組を行う(給食委員会等)。 |
| 2 学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導 | 給食の残食量を毎食計量、記録した。 給食の残量を少なくする取組を行う(給食委員会等)。 | 教育政策課 | 継続 | 給食の残食量を毎食計量、記録した。給食の残量を少なくする取組を行った(給食委員会等) | 継続 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用した、食に関する指導の推進。 |
| 3 学校における食に関する指導の推進 | 体育科、保健体育科、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進する。 | 教育政策課 学校教育課 | 継続 継続 | 小学校：100%、中学校：100% | 継続 | 月1~2回保健日より、給食日より等を配布し、啓発を行う。体育科、保健体育科、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進。 |
| 4 保健日より、給食日より等による啓発【再】 | 保健日より、給食日より等を通じた、児童生徒・保護者及び地域への啓発を行う。 | 教育政策課 学校教育課 | 継続 | 月1~2回保健日より、給食日より等を配布し、啓発を行った | 継続 | 給食の残食量を毎食計量、記録した。給食の残量を少なくする取組を行う(給食委員会等)。 |
| 5 食べきり協力店登録制度 | 外食時の食べ残しの削減に積極的に取り組んでいただけた市内の飲食店・宿泊施設等の店舗を「高知市食べきり協力店」として募集・登録し、市民に周知することで、食べ残しの削減に対する市民の意識の高揚を図るとともに、市民、事業所及び行政が一体となった食べきり運動の推進を図る。 | 新エネルギー・環境政策課 | 継続 | 登録店舗数：18店舗(新規登録の店舗) ※新型コロナウイルス感染症の影響につき、加入店舗増のための飲食店への訪問を自粛 | 継続 | ホームページ等での協力店の周知及び登録店舗数の増加に努める。 |
| 6 忘年会・新年会はおいしく残さず食べきろう！全国共同キャンペーン | 食品ロス削減に取り組む自治体間のネットワークである「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」の全国共同キャンペーンとして、30・10運動等、宴会時の食べ残しを減らすための周知・啓発を行う。 | 新エネルギー・環境政策課 | 継続 | 外食の機会が増える年末年始に合わせて、商工会議所、青年会議所を通じて、各会員事業所へ全国共同キャンペーンの周知及び協力依頼を行うとともに、市ホームページや庁内掲示等を活用して、市民等への啓発を行った。 | 継続 | 庁内掲示等を活用し、本市職員に協力を呼びかけるとともに、商工会議所、青年会議所等を通じて周知啓発を行う。 |
| 7 環境学習 | 保育園等では、環境業務課職員による寸劇「環境選隊クリレンレンジャー」を通じ、親子でごみの分別等を学んでもらう中で、好き嫌いや食べ残しをなくす必要性を説明する。また、小学校や大学等では、授業や講義の中で食品ロスの問題についての周知・啓発を行う。 | 新エネルギー・環境政策課 環境業務課 | 継続 | 開催数：7回、参加者数：574人 ※新型コロナウイルス感染症により開催数大幅減 | 継続 | 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、実施の可否を判断していくが、実施する場合にはも感染症対策を徹底して実施する。 |
| 8 ごみ出前講座 | 町内会等からの依頼によるごみの出前講座で、食品ロスの問題についての周知・啓発を行う。 | 新エネルギー・環境政策課 環境業務課 | 継続 | 開催数：6回、参加者数：131人 ※新型コロナウイルス感染症により開催数大幅減 | 継続 | 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、実施の可否を判断していくが、実施する場合にはも感染症対策を徹底して実施する。 |
| 9 食品ロスをテーマとしたイベントの実施 | 食品ロスの問題についてのイベントを実施し、周知・啓発を行う。 | 新エネルギー・環境政策課 | 継続 | 地球温暖化対策として、あらゆる賢い選択を促す国民運動「COOL CHOICE」のイベントや、高知市教育委員会及び高知市学校給食会が主催する「食育実践発表会」にて、食品ロス問題に関するパネル展示等を実施し、周知・啓発を行った。 ・土佐の豊穠祭 10/23(土)・24(日) ・住まいるパーク 10/30(土)・31(日) ・すこやか2021 11/20(土)・21(日) ・食育実践発表会 1/15(土)・16(日) | 継続 | 10月にイオンモール高知での食品ロス問題に関するパネル展示の開催を検討中である。 |

令和4年度 取組状況

＜今後の方向性＞

- ・関係者と連携し、高知の食（食材・食文化）を伝承・継承します。
- ・食事の作法や日本ならではの食文化などを次世代へ伝承・継承します。
- ・地元産の街路市への呼び戻しと掘り起こしを行います。
- ・地産地消の推進のために直売所の活動を支援します。
- ・保育所や学校などでの地場産品の活用を推進します。
- ・給食に高知ならではの食材や郷土料理を取り入れ、子どもたちに高知の食のよさを伝えていきます。

2.高知の食（食材・食文化）を大切にするための取組

| 取組名 | 内容 | 所管課 関係団体 | 令和3年度の実績 | 方向性 | 令和4年度の取組状況 取組方法等 |
|-------------------------------|---|----------------------|---|--------------|--|
| 1 給食を媒体とした食育活動 | 行事食、高知ならではの料理や食材、地域食材を給食で提供する。 | 保育幼稚園課 | 日々の給食で実施 | 継続 | |
| 2 給食だより等での周知・啓発 | 保護者に行事食、高知ならではの料理や食材、地域食材やその調理方法等を紹介する。 | 保育幼稚園課 | 給食で取り入れながら食育メモにて周知（行事食）5.9・12・1.2・3月号 （旬食材・県産食材）4・5・7・10・12・2月号 給食室だより8・1月号（旬食材・県産食材） | 継続 | |
| 3 給食での地場産品の活用推進 | 保育所給食での地場産品の活用を推進する。 | 保育幼稚園課 | （H30年度実績）市立保育所：47.2% | 継続 | |
| 4 食育実践発表会【再】 | 全国学校給食週間にあわせ、高知市立学校における食育や、学校給食について紹介するイベントを開催し、市民・学校・家庭・地域への啓発を行う。 | 教育政策課 | 令和4年1月15日（土）～16日（日） オナーシア、入場者数：954人 | 継続 | 令和5年2月23日（木） オナーシアにて開催予定。 |
| 5 夏休み親子料理教室 | 小学5年生児童とその保護者を対象に、高知の食べ物や皿鉢料理を作る。 | 教育政策課 | 料理教室は中止 調理動画を作成し、HPに掲載 令和2年度、令和3年度対象者へレシピを配付した | 検討中 | |
| 6 小中学校食育・地場産品活用推進事業（体験学習）【再】 | 地域や関係団体等と連携し、食育体験学習を行い、食べ物や生産等にかかわる人々への感謝の心を育てることや、体験を通して地域の産物の特色や食文化について学ぶ。 | 教育政策課 | 24校、33回 | 継続 | 26校、40件 |
| 7 小中学校食育・地場産品活用推進事業（皿鉢料理モデル校） | 小学4年生を対象として、モデル校の指定を行い、皿鉢料理の授業と皿鉢給食を実施する。 | 教育政策課 | 各学校の自由献立として実施しているが、卒業教諭等未配置校では未実施 | 中止 | 各学校の自由献立等で実施予定。 |
| 8 高知の食べものいっぱい入っちょう日 | 高知の食への関心を高め、食文化の継承と皿鉢料理の魅力を伝える。 | 教育政策課 | 61.5%（小中学校統一献立実施分） | 継続 | 毎月1回、地場産品活用割合50%以上を目指した献立の実施。 |
| 9 自由献立の実施 | 学期に1回の自由献立の日を学校給食における「地産地消の日」として、収穫等の体験学習や教科のつながりをもった食材を取り入れることにより、学校の特色を活かした給食を実施する。 | 教育政策課 | 地産地消献立：食材数で42.6% | 継続 | 学期に1回、地産地消献立の実施。 |
| 10 高知家のカレー | 11月に地元産、県内産の献立を積極的に取り入れ、だしを味わうことが出来る「高知カレー」の提供を行う。 | 教育政策課 | 毎年、統一献立、学校給食センター献立で実施 | 継続 | 毎年、統一献立、学校給食センター献立で実施。 |
| 11 だしで味わう和食の日【再】 | 地産地消の食材を積極的に取り入れ、だしを味わうことが出来る「高知だし」の提供を行う。 | 教育政策課 | 100% 毎年、統一献立、学校給食センター献立で実施 | 継続 | 毎年、統一献立、学校給食センター献立で実施。 |
| 12 「あまの魚屋さんがやってきた」料理体験教室 | 地産地消の食材を積極的に取り入れ、だしを味わうことが出来る「高知だし」の提供を行う。 | 教育政策課 | 100% 毎年、統一献立、学校給食センター献立で実施 | 継続 | 毎年、統一献立、学校給食センター献立で実施。 |
| 13 給食に活用した地場産物の紹介 | 給食に活用した地場産物の紹介 | 教育政策課 | 小学校2校 | 継続 | 募集中 |
| 14 農業体験学習推進事業 | 農業体験学習を実施する。 | 農林水産課 | 1校、児童：53名 | 継続 | 給食に使用した地場産物に関する指導資料を作成し、給食放送等で児童生徒に啓発を行う。 |
| 15 学校給食用食料生産支援事業 | 農業者が取り組む学校給食用食料の生産経費に対する助成を実施する。 | 農林水産課 | 44千円 | 継続 | 農業（酪農）体験学習を実施する。 6月から実施。14校、児童：587名参加予定。 |
| 16 有機市民農園管理運営事業 | 有機市民農園を通じて食の安全や環境保全への取組について関心をもっていた。 | 農林水産課 | 48区画 | 継続 | 農業者が取り組む学校給食用食料の生産経費に対する助成を実施する。 有機市民農園を通じて食の安全や環境保全への取組について関心をもっていた。 |
| 17 水産業技術改良普及事業 | 魚食普及推進事業等に取り組む高知地区漁業改良協議会に対して助成を実施する。 | 農林水産課 | 中止 | 継続 | 魚食普及推進事業等に取り組む高知地区漁業改良協議会に対して助成を実施する。 |
| 18 食をテーマにしたイベント事業への補助 | 食をテーマにしたイベント事業への補助 | 観光魅力創造課 | 土佐の豊稔祭（高知市会場）、土佐の「おきやく」に 対する高知市観光振興事業補助金 ：開催及び感染症拡大防止策に対し補助金額の上乗せ を行った ・令和3年8月20日（金）～9月26日（日）の38日 間、令和4年1月26日（水）～2月28日（月）の34 日間は感染症拡大防止策のため一時休業 ・観の鑑賞きたたきコース参加者 ：7人（～令和4年3月末） | 継続 | 土佐の豊稔祭（高知市会場）・土佐の「おきやく」の開催への補助 |
| 19 観光客を対象としたまち歩きガイド事業 | 「龍馬の生誕地まち歩き～土佐っ歩～」における「観の鑑賞きたたきコース」で、参加者に観の鑑賞きたたきを体験していただく。 | 観光魅力創造課 | 2万部を作成し、日曜市内やホテル、観光施設などで配布 | 継続 | 観の鑑賞きたたきコースを実施 |
| 20 街路市活性化推進事業 | 地元客向けフリーマーケット等を作成し、配布する。 | 産業政策課 | 高知市街路市活性化推進事業補助金 ：令和3年度実績：12回 （高知市街路市活性化推進事業） とさき自由学校販売体験（木曜市）：1回 | 継続 | フリーマーケットを作成し高知市街路市活性化推進事業補助金 やホテルなどで観光客の目にも留まるように設置し啓発する。 |
| 21 街路市活性化推進事業 | 食を通じた飲食店との連携事業を実施する。 | 産業政策課 | 高知市街路市活性化推進事業補助金 ：令和3年度実績：12回 （高知市街路市活性化推進事業） とさき自由学校販売体験（木曜市）：1回 | 継続 | 高知市街路市活性化推進事業補助金 やホテルなどで観光客の目にも留まるように設置し啓発する。 |
| 22 街路市活性化推進事業 | 小学校の授業や教材を通じて、街路市文化を伝承する。 | 産業政策課 | 高知市街路市活性化推進事業補助金 ：令和3年度実績：12回 （高知市街路市活性化推進事業） とさき自由学校販売体験（木曜市）：1回 | 継続 | 高知市街路市活性化推進事業補助金 やホテルなどで観光客の目にも留まるように設置し啓発する。 |
| 23 街路市活性化推進事業 | 高知商業高校や高知大学等の日曜市での活動への協力等を実施する。 | 産業政策課 | 高知市街路市活性化推進事業補助金 ：令和3年度実績：12回 （高知市街路市活性化推進事業） とさき自由学校販売体験（木曜市）：1回 | 継続 | 高知商業高校の販売体験や高知商業大学校の生産物販売等への協力 |
| 24 ヘルスマイットによる郷土料理講習会等への協力 | 学校における皿鉢給食や家庭科授業に協力し、郷土料理の作り方を伝える。 | 健康増進課 市食生活改善推進協議会 | 開催数：3回、参加者数：235人 | 継続 （条件付き） | 学校の要請に応じて実施する。 |

令和4年度 取組状況



＜今後の方向性＞

- ・農林漁業体験学習の取組を支援します。
- ・学童農園の取組を支援します。
- ・イベントや体験学習を通じて、生産者と消費者の交流を促す取組を支援します。
- ・栽培活動を通じ、農作物への興味や関心を育てます。

3 農林漁業への理解を深めるための取組

| 取組名 | 内容 | 所管課 関係団体 | 令和3年度の実績 | | 令和4年度の取組状況 | |
|------------------------------|--|-----------------|-------------------------------|--------------|--|--|
| | | | 方向性 | 取組方法等 | | |
| 1 保育所における栽培活動 | 保育所での栽培活動を通じ、農作物への興味や関心を育てる。 | 保育幼稚園課 | 日々の保育で実施 | 継続 | | |
| 2 クッキング保育 | 保育所で栽培したもの等を調理し、共食することで、食への興味や関心を育てる。 | 保育幼稚園課 | 市立保育所・幼稚園：18園、延べ41回 | 継続 (条件付き) | 新型コロナウイルス感染症予防のために、多人数でのクッキング保育が難しいため、調理や喫食の伴わない保育も併行していく。 | |
| 3 小中学校食育・地場産品活用推進事業(体験学習)【再】 | 地域や関係団体等と連携し、食育体験学習を行い、食べ物や生産等にかかわる人々への感謝の心を育てることや、体験を通して地域の産業の特色や食文化について学ぶ。 | 教育政策課 | 24校、33回 | 継続 | 26校、40件 | |
| 4 収穫体験事業 | 小学校対象。種まきから収穫までの農業体験等を通じ、生産者への理解と感謝の気持ちを育む。 | 教育政策課 市学校給食会 | 小学校2校 | 継続 | 小学校2校 | |
| 5 「あの魚屋さんがやってきた」料理体験教室【再】 | 地域の鮮魚店等の従事者を講師に招き、県内の水産物に関する学習と水産物の調理実習を行う。 | 教育政策課 県学校給食会 | 小学校2校 | 継続 | 募集中 | |
| 6 学校における食に関する指導の推進【再】 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進する。 | 教育政策課 学校教育課 | 小学校：100%、中学校：100%、義務教育学校 100% | 継続 | 保健体育、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用した、食に関する指導の推進。 体育科、保健体育科、家庭科、生活科、総合的な学習の時間、特別活動の時間等を活用し、食に関する指導を推進。 | |
| 7 農業体験学習推進事業【再】 | 農業(畜産)体験学習を実施する。 | 農林水産課 | 1校、児童：53名 | 継続 | 農業(畜産)体験学習を実施する。 6月から実施。14校、児童：587名参加予定。 | |
| 8 学校給食用食食材生産支援事業【再】 | 農業者が取り組む学校給食用食食材の生産経費に対する助成を実施する。 | 農林水産課 | 44千円 | 継続 | 農業者が取り組む学校給食用食食材の生産経費に対する助成を実施する。 | |
| 9 有機市民農園管理運営事業【再】 | 有機市民農園を通じて食の安全や環境保全への取組について関心をもってもらいたい。 | 農林水産課 | 48区画 | 継続 | 有機市民農園を通じて食の安全や環境保全への取組について関心をもってもらいたい。 | |
| 10 水産業技術改良普及事業 | 魚食普及推進事業等に取り組み町畜産地区漁業改良協議会に対して助成を実施する。 | 農林水産課 | 中止 | 継続 | 魚食普及推進事業等に取り組み町畜産地区漁業改良協議会に対して助成を実施する。 | |

令和4年度 取組状況



＜今後の方向性＞
 ・こうちし食育やぞねつとによる連携・協働の活性化をすすめます。
 ・地域の伝統行事など、地域文化に触れる体験や学習などの事業を企画検討します。
 ・コミュニケーションや豊かな食体験にもつながる共食の機会の仕組みづくりをすすめます。

4人の輪をつなげるための取組

| 取組名 | 内容 | 所管課 関係団体 | 令和3年度の実績 | 方向性 | 令和4年度の取組状況 取組方法等 |
|-----|-----------------------------|----------------------------|---|--------------|--|
| 1 | こうちし食育やぞねつとによるネットワークの構築 | 食育推進委員会 | 登録団体数：12団体(1団体増) 情報交換会：新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 | 継続 | 登録団体の増加促進 情報交換会を6月開催予定 |
| 2 | 食育だより「わたしから始まる高知の食育」による情報発信 | 食育推進委員会 | Vol.1.109～Vol.1.120発行 | 継続 | Vol.1.121～Vol.1.132発行予定 |
| 3 | ふれあい給食事業 | 教育政策課 市学校給食会 | 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 | 継続 | ふれあい給食の実施(日時等は未定)。 |
| 4 | 食育推進支援事業 (食事提供活動支援事業) | 教育政策課 県教育委員会 | 小学校1校 | 継続 | 小学校1校 |
| 5 | 市民学校・成人講座・市民講座 | 文化振興課 | 開催数：10回 中止：4回(新型コロナウイルス感染症拡大のため) | 継続 | |
| 6 | 世代間交流ふれあい事業 | 文化振興課 | 開催数：2回 中止：2回(新型コロナウイルス感染症拡大のため) | 継続 | |
| 7 | 地域での食を通じたイベントの開催 | 地域コミュニティ推進課 地域内連携協議会等 | 地域が主体となつて地域コミュニティ推進等に取り組み活動のうち、食に関するもの。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 | 検討中 | 令和4年度は新型コロナウイルス感染症状況を考慮しながら、事業の実施・中止の判断を行う。 |
| 8 | 地域での食の集いの場における世代間交流の推進 | 地域コミュニティ推進課 地域内連携協議会等 | 地域が主体となつて地域コミュニティ推進等に取り組み活動のうち、食に関するもの。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策を徹底した上で実施している地域あり。 | 検討中 | 令和4年度は新型コロナウイルス感染症状況を考慮しながら、事業の実施・中止の判断を行う。 |
| 9 | ヘルスマイト育成・養成事業 | 健康増進課 | 育成研修は人数制限、養成研修は調理実習の方法を変更して実施。 ヘルスマイト会員数：120人(令和4年1月現在) | 継続 (条件付き) | 研修の人数制限や調理実習の方法を変更して実施する。 育成研修：5～6月・9月 養成研修：7～8月 |
| 10 | 口からはじめる食育推進事業 | 健康増進課 学校教育課 高知学園短期大学 | 実習は中止とし、講義形式での指導を実施した。 小学校17校、中学校4校 | 継続 (条件付き) | 小学3,4年生と中学生を対象に、高知学園短期大学学生による講義形式での指導を行う。(実習は中止) 健康教育前後に「食と生活のアングケート」を実施する。 |
| 11 | 第3次高知市食育推進計画の周知・啓発 | 健康増進課 食育推進委員会 | ○市ホームページによる情報発信 ○高知市役所食堂、オーチビアにおける啓発 ○食育実践発表会における啓発 ○イベント等(スポーツイベント、防災講座)での啓発 ○啓発媒体の作成 | 継続 | |
| 12 | 関係企業との連携・協働による取組 | 健康増進課 市食育推進委員会 | 高知市役所食堂での連携・協働により、市民(来店者)の食育に対する関心を高めることを目的に、店舗内において、食育だよりの掲示と、第3次高知市食育推進計画に基づいた情報発信、啓発活動を行った。 ○高知市役所食堂で、学生が作成した媒体による、若い世代を意識した啓発。 | 継続 | 高知市役所食堂での情報発信、啓発活動は継続。 イオンモール高知、ファミリーマートでの啓発も予定している。 |

第3次高知市食育推進計画 食育推進に向けた目標値に対する現状

| 視点 | 目標 | 指標 | 第3次計画作成時 (2018年度) | | 現状値 (2021年度) | 目標値 (2023年度) | 確認方法 |
|---------------|---|--|----------------------|------------------|--------------------------|---------------------|---|
| えらぶ | 健康的な食を選ぶ | 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日に2回以上、ほぼ毎日食べている市民の割合 | 20～30歳代 | 29.9% | | 35% | R5 食育アンケート |
| | | | 20～70歳代 | 49.0% | | 60% | |
| | 安全安心な食を選ぶ | 食中毒予防のための正しい知識を持っている市民の割合 | 20～70歳代 | 14.1% | | 20% | R5 食育アンケート |
| えらぶ | 高知の食を選ぶ | 保育所給食で使用する食材のうち、地場産品を活用する割合(重量ベース) 学校給食で使用する食材のうち、地場産品を活用する割合(食材数ベース) | 保育所 | 45.3% 2017年度値 | 62.1% | 55% | 保育幼稚園課 |
| | | | 学校 | 40.5% 2016年度値 | | 50% | 教育政策課 |
| はぐくむ | 健康な心身をはぐくむ | 朝食をほとんど毎日食べる市民の割合 | 幼児 | 95.5% | 男82%, 女85% 男78%, 女75% | 98% | R5 食育アンケート 学校教育課 (高知県体力・運動能力、生活実態等調査) |
| | | | 小学生 | 89.1% | | 95% | |
| | | | 中学生 | 78.6% | | 90% | |
| | | | 20～30歳代 | 68.3% | | 75% | |
| | | 減塩に気をつけた取組をしている市民の割合 | 20～70歳代 | 68.0% | | 74% | R5 食育アンケート |
| | | ゆっくりよくかんで食べる市民の割合 | 20～70歳代 | 35.8% | | 45% | R5 食育アンケート |
| | | 歯肉炎になっていない小中学生の割合 | 小学生 | 74.8% | 74.5% | 81% | 学校教育課 (学校歯科保健調査) |
| | | | 中学生 | 67.6% | 70.5% | 74% | |
| | 高知の食(食材・食文化)を大切にする | 栽培活動を含む農林漁業体験活動に取り組む保育所・幼稚園・認定こども園・学校の割合 | 保育所 | 93.1% | | 98% | 個別アンケート |
| | | | 幼稚園 | 100% | | 100% | |
| | | 認定こども園 | 87.0% | | 92% | | |
| | | 小学校 | 82.9% | | 92% | 農林水産課 | |
| | 高知の食を豊かだと思ふ市民の割合 | 20～70歳代 | 83.9% | | 93% | R5 食育アンケート | |
| 高知の自然環境を大切にする | 食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合 | 20～70歳代 | 98.0% | | 98% | R5 食育アンケート | |
| つなぐ | 一人ひとりが取り組む | 「食育」の取組をしている市民の割合 | 20～70歳代 | 98.1% | | 100% | R5 食育アンケート |
| | ライフステージをつなぐ | 食に関する指導計画を作成している保育所・幼稚園・認定こども園の割合 | 保育所 | 85.1% | | 100% | 個別アンケート |
| | | | 幼稚園 | 50.0% | | 55% | |
| | | | 認定こども園 | 73.9% | | 79% | |
| | 命をつなぐ | 災害時の食の備えを実践している市民の割合 | 20～70歳代 | 66.5% | | 80% | R5 食育アンケート |
| | 次世代へつなぐ | 高知ならではの料理や食材を食べたことがある小中学生の割合 | 小学生 | 88.7% | | 95% | R5 食育アンケート |
| | | | 中学生 | 83.5% | | 92% | |
| | 高知ならではの料理や食材、食べ方などを、次世代に伝えていくことを大切だと思ふ市民の割合 | 20～70歳代 | 84.1% | | 90% | R5 食育アンケート | |
| 社会をつなぐ | 地域の人や家族と高知の食を楽しむ市民の割合 | 小学生 | 52.2% | | 62% | R5 食育アンケート | |
| | | 中学生 | 49.2% | | 60% | | |
| | | 20～70歳代 | 50.1% | | 60% | | |
| | 一日一回は誰かと一緒に食事をする市民の割合 | 60～70歳代 | 54.4% | | 60% | R5 食育アンケート | |
| | 高知市食育推進計画に基づき、連携・協働して食育活動に取り組む団体等の数 | 「こうちし食育やるぞねっと」登録団体数 | 10団体 | 12団体 | 15団体 | 「こうちし食育やるぞねっと」登録団体数 | |

国の「第3次食育推進基本計画」「第4次食育推進基本計画」新旧対照表

第1 食育の推進に関する施策についての基本的な方針

| <p>国の第3次食育推進基本計画(平成28年度～32年度)</p> | <p>国の第4次食育推進基本計画(令和3年度～7年度)</p> |
|--|--|
| <p>1. 重点課題</p> <p>(1) 若い世代を中心とした食育の推進</p> <p>(2) 多様な暮らしに対応した食育の推進</p> <p>(3) 健康寿命の延伸につながる食育の推進</p> <p>(4) 食の循環や環境を意識した食育の推進</p> <p>(5) 食文化の継承に向けた食育の推進</p> <p>(視点)</p> <p>○子供から高齢者まで、生涯を通じた取組を推進</p> <p>○国、地方公共団体、教育関係者、農林漁業者、食品 関連事業者、ボランティア等が主体的かつ多様に連携・協働しながら食育の取組を推進</p> | <p>1. 重点課題</p> <p>(1) 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進 (国民の健康の視点)</p> <p>(2) 持続可能な食を支える食育の推進 (社会・環境・文化の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食と環境の調和 (環境の環) ・農林水産業や農山漁村を支える多様な主体とのつながりの深化 (人の環) ・日本の伝統的な和食文化の保護・継承 (和食文化の環) <p>(3) 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進 (横断的な視点)</p> |
| <p>2. 基本的な取組方針</p> <p>(1) 国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成</p> <p>(2) 食に関する感謝の念と理解</p> <p>(3) 食育推進運動の展開</p> <p>(4) 子供の食育における保護者、教育関係者等の役割</p> <p>(5) 食に関する体験活動と食育推進活動の実践</p> <p>(6) 我が国の伝統的な食文化、環境と調和した生産等への配慮及び農山漁村の活性化と食料自給率の向上への貢献</p> <p>(7) 食品の安全性の確保等における食育の役割</p> | <p>2. 基本的な取組方針</p> <p>(1) 国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成</p> <p>(2) 食に関する感謝の念と理解</p> <p>(3) 食育推進運動の展開</p> <p>(4) 子供の食育における保護者、教育関係者等の役割</p> <p>(5) 食に関する体験活動と食育推進活動の実践</p> <p>(6) 我が国の伝統的な食文化、環境と調和した生産等への配慮及び農山漁村の活性化と食料自給率の向上への貢献</p> <p>(7) 食品の安全性の確保等における食育の役割</p> |

第2 食育の推進の目標に関する事項

| 国の第3次食育推進基本計画(平成28年度～32年度) | | | 高知市 第3次計画 | 国の第4次食育推進基本計画(令和3年度～7年度) | | |
|--|------------------|---------------|--|--|-------------------|----------------|
| 目標 | 作成時 (27年度) | 目標値 (32年度) | | 目標 | 現状値 (令和2年度) | 目標値 (令和7年度) |
| 1 食育に関心を持っている国民を増やす | | | △ 取組をしている 市民の割合 | 1 食育に関心を持っている国民を増やす | | |
| ①食育に関心を持っている国民の割合 | 75.0% | 90%以上 | | 83.2% | 90%以上 | |
| 2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす | | | △ 1回/日共食する市 民の割合 | 2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす | | |
| ②朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数 | 週9.7回 | 週11回以上 | | 週9.6回 | 週11回以上 | |
| 3 地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす | | | △ 地域の人や家族と 高知の食を楽しむ 市民の割合 | 3 地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす | | |
| ③地域等で共食したいと思う人が共食する割合 | 64.6% | 70%以上 | | 70.7% | 75%以上 | |
| 4 朝食を欠食する国民を減らす | | | ○ | 4 朝食を欠食する国民を減らす | | |
| ④朝食を欠食する子供の割合 | 4.4% | 0% | | 4.6% (令和元年度) | 0% | |
| ⑤朝食を欠食する若い世代の割合 | 24.7% | 15%以下 | ○ | 21.5% | 15%以下 | |
| 5 中学校における学校給食の実施率を上げる | | | | | | |
| ⑥中学校における学校給食実施率 | 87.5% (26年度) | 90%以上 | | | | |
| 6 学校給食における地場産物等を使用する割合を増やす | | | ○ | 5 学校給食における地場産物を活用した取組を増やす | | |
| ⑦学校給食における地場産物を使用する割合 | 26.9% (26年度) | 30%以上 | | 月9.1回 (令和元年度) | 月12回以上 | |
| ⑧学校給食における国産食材を使用する割合 | 77.3% (26年度) | 80%以上 | | — | 90%以上 | |
| 7 栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民を増やす | | | ○ | 6 栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民を増やす | | |
| ⑨主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合 | 57.7% | 70%以上 | | 36.4% | 50%以上 | |
| ⑩主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合 | 43.2% | 55%以上 | ○ | 27.4% | 40%以上 | |
| | | | | ⑪1日当たりの食塩摂取量の平均値 | 10.1g (令和元年度) | 8g以下 |
| | | | | ⑫1日当たりの野菜摂取量の平均値 | 280.5g (令和元年度) | 350g以上 |
| | | | | ⑬1日当たりの果物摂取量100g未満の者の割合 | 61.6% (令和元年度) | 30%以下 |
| 8 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民を増やす | | | △ 減塩に気をつけた 取組をしている市 民の割合 | 7 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民を増やす | | |
| ⑪生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合 | 69.4% | 75%以上 | | 64.3% | 75%以上 | |
| ⑫食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業の登録数 | 67社 (26年度) | 100社以上 | | | | |
| 9 ゆっくりよく噛んで食べる国民を増やす | | | ○ | 8 ゆっくりよく噛んで食べる国民を増やす | | |
| ⑬ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合 | 49.2% | 55%以上 | | 47.3% | 55%以上 | |
| 10 食育の推進に関わるボランティアの数を増やす | | | △ 食育活動に取組 む団体等の数 | 9 食育の推進に関わるボランティアの数を増やす | | |
| ⑭食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数 | 34.4万人 (26年度) | 37万人以上 | | 36.2万人 (令和元年度) | 37万人以上 | |
| 11 農林漁業体験を経験した国民を増やす | | | △ 農林漁業体験活動 に取り組む保・幼 ・小・中学校の割合 | 10 農林漁業体験を経験した国民を増やす | | |
| ⑮農林漁業体験を経験した国民(世帯)の割合 | 36.2% | 40%以上 | | 65.7% | 70%以上 | |
| 12 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす | | | | 11 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす | | |
| | | | | ⑯産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合 | 73.5% | 80%以上 |
| 13 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす | | | ○ | 12 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす | | |
| ⑰食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合 | 67.4% (26年度) | 80%以上 | | 67.1% | 75%以上 | |
| | | | | ⑰食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合 | 76.5% (令和元年度) | 80%以上 |

| 国の第3次食育推進基本計画(平成28年度～32年度) | | | 高知市 第3次計画 | 国の第4次食育推進基本計画(令和3年度～7年度) | | |
|---|---------------|---------------|-----------------------------------|---|------------------|----------------|
| 目標 | 作成時 (27年度) | 目標値 (32年度) | | 目標 | 現状値 (令和2年度) | 目標値 (令和7年度) |
| 13 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民を増やす | | | △ 伝えていくことが大切と思う市民の割合 | 14 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民を増やす | | |
| ⑰地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合 | 41.6% | 50%以上 | | ⑰地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合 | 50.4% | 55%以上 |
| ⑱地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している若い世代の割合 | 49.3% | 60%以上 | △ 高知ならではの料理や食料を食べたことがある小中学生の割合 | ⑱郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている国民の割合 | 44.6% | 50%以上 |
| 14 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する 国民を増やす | | | △ 食中毒予防の正しい知識を持っている市民の割合 | 15 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する 国民を増やす | | |
| ⑲食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合 | 72.0% | 80%以上 | | ⑲食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合 | 75.2% | 80%以上 |
| ⑳食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する若い世代の割合 | 56.8% | 65%以上 | | | | |
| 15 推進計画を作成・実施している市町村を増やす | | | | 16 推進計画を作成・実施している市町村を増やす | | |
| ㉑推進計画を作成・実施している市町村の割合 | 76.7% | 100% | | ㉑推進計画を作成・実施している市町村の割合 | 87.5% (令和2年度) | 100% |

第3 食育の総合的な促進に関する事項（取り組むべき施策）

| 国の第3次食育推進基本計画(平成28年度～32年度) | 国の第4次食育推進基本計画(令和3年度～7年度) |
|--|---|
| <p>1. 家庭における食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供の基本的な生活習慣の形成 ○望ましい食習慣や知識の習得 ○妊産婦や乳幼児に関する栄養指導 ○子供・若者の育成支援における共食等の食育推進 | <p>1. 家庭における食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供の基本的な生活習慣の形成 ○望ましい食習慣や知識の習得 ○妊産婦や乳幼児に対する食育の推進 ○子供・若者の育成支援における共食等の食育推進 ○在宅時間を活用した食育の推進 |
| <p>2. 学校、保育所等における食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食に関する指導の充実 ○学校給食の充実 ○食育を通じた健康状態の改善等の推進 ○就学前の子供に対する食育の推進 | <p>2. 学校、保育所等における食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食に関する指導の充実 ○学校給食の充実 ○食育を通じた健康状態の改善等の推進 ○就学前の子供に対する食育の推進 |
| <p>3. 地域における食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「食育ガイド」等の活用促進 ○健康寿命の延伸につながる食育推進 ○歯科保健活動における食育推進 ○栄養バランスに優れた日本型食生活の実践の推進 ○貧困の状況にある子供に対する食育推進 ○若い世代に対する食育推進 ○高齢者に対する食育推進 ○食品関連事業者等における食育推進 ○専門的知識を有する人材の養成・活用 | <p>3. 地域における食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「食育ガイド」等の活用促進 ○健康寿命の延伸につながる食育の推進 ○歯科保健活動における食育推進 ○栄養バランスに優れた日本型食生活の実践の推進 ○貧困等の状況にある子供に対する食育の推進 ○若い世代に関わる食育の推進 ○高齢者に関わる食育の推進 ○食品関連事業者等による食育の推進 ○専門的知識を有する人材の養成・活用 ○職場における従業員等の健康に配慮した食育の推進 ○地域における共食の推進 ○災害時に備えた食育の推進 |
| <p>4. 食育推進運動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育に関する国民の理解の増進 ○ボランティア活動等民間の取組への支援、表彰等 ○食育推進運動の展開における連携・協働体制の確立 ○食育月間及び食育の日の設定・実施 ○食育推進運動に資する情報の提供 | <p>4. 食育推進運動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育に関する国民の理解の増進 ○ボランティア活動等民間の取組への支援、表彰等 ○食育推進運動の展開における連携・協働体制の確立 ○食育月間及び食育の日の取組の充実 ○食育推進運動に資する情報の提供 ○全国食育推進ネットワークの活用 ○「新たな日常」やデジタル化に対応する食育の推進 |
| <p>5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農林漁業者等による食育推進 ○子供を中心とした農林漁業体験活動の促進と消費者への情報提供 ○都市と農山漁村の共生・対流の促進 ○農山漁村の維持・活性化 ○地産地消の推進 | <p>5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農林漁業者等による食育の推進 ○子供を中心とした農林漁業体験活動の促進と消費者への情報提供 ○都市と農山漁村の共生・対流の促進 ○農山漁村の維持・活性化 ○地産地消の推進 ○環境と調和のとれた持続可能な食料生産とその消費にも配慮した食育の推進 |
| <p>6. 食文化の継承のための活動への支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食品ロス削減を旨とした国民運動の展開 ○バイオマス利用と食品リサイクルの推進 <p>6. 食文化の継承のための活動への支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動等における取組 ○学校給食での郷土料理等の積極的な導入や行事の活用 ○専門調理師等の活用における取組 ○「和食」の保護と次世代への継承のための産学官一体となった取組 ○地域の食文化の魅力を再発見する取組 ○関連情報の収集と発信 | <p>6. 食文化の継承のための活動への支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域が多様な食文化の継承につながる食育の推進 ○ボランティア活動等における取組 ○学校給食等での郷土料理等の積極的な導入や行事の活用 ○専門調理師等の活用における取組 |
| <p>7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯を通じた国民の取組の提示 ○基礎的な調査・研究等の実施及び情報の提供 ○リスクコミュニケーションの充実 ○食品の安全性や栄養等に関する情報提供 ○食品表示の適正化の推進 ○地方公共団体における取組の推進 ○食育や日本食・食文化の海外展開と海外調査の推進 ○国際的な情報交換等 | <p>7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯を通じた国民の取組の提示 ○基礎的な調査・研究等の実施及び情報の提供 ○リスクコミュニケーションの充実 ○食品の安全性や栄養等に関する情報提供 ○食品表示の理解促進 ○地方公共団体における取組の推進 ○食育や日本食・食文化の海外展開と海外調査の推進 ○国際的な情報交換等 |

第4 食育の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

| 国の第3次食育推進基本計画(平成28年度～32年度) | 国の第4次食育推進基本計画(令和3年度～7年度) |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な関係者の連携・協働の強化 2. 地方公共団体による推進計画の作成等とこれに基づく施策の促進 3. 積極的な情報提供と国民の意見等の把握 4. 推進状況の把握と効果等の評価及び財政措置の効率的・重点的運用 5. 基本計画の見直し | <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な関係者の連携・協働の強化 2. 地方公共団体による推進計画に基づく施策の促進とフォローアップ 3. 積極的な情報提供と国民の意見等の把握 4. 推進状況の把握と効果等の評価及び財政措置の効率的・重点的運用 5. 基本計画の見直し |

平成30年高知市食育に関するアンケート調査内容一覧

★高知市2次計画目標値設定項目, ◎高知市3次計画目標値設定項目

| 調査項目 【3次計画具体的な取組*】 | アンケート調査の質問 | アンケート調査の回答 | 対象者 | | | | 比較対象・参考 | | |
|-----------------------|--------------------------------|--|---|--|----------|----|-----------------------|--|-------------------------|
| | | | 幼児 | 幼児の 親 | 小5 中2 | 成人 | | | |
| (1) 食育への関心 | ①関心 【2-4】 | あなたは、「食育」に関心がありますか。 | | ○ | | ○ | 高知市2次計画 食育に関する意識調査 | | |
| | ◎ | あなたが「食」に関することで実践していることは何ですか。 あてはまるものをすべて選んでください。 | 1. 一日3食きちんと食べる 2. 決まった時間に食べる 3. 栄養バランスのとれた食事 4. よくかんで食べる 5. 家族や友人と楽しく食べる 6. 食事のマナーに気をつける 7. 食べ物を大切に 8. 食事を作ってくれた人へ感謝する 9. 行事の食べ物や郷土料理を伝える 10. 農林漁業・食品加工を体験する 11. 高知県産の食材を選ぶ 12. その他() 13. 特になし | | | | ◎ 高知市2次計画 | | |
| | ★ | お子さんの「食」に関することで、実践していることは何ですか。 あてはまるものをすべて選んでください。 | 1. 一日3食きちんと食べる 2. 決まった時間に食べる 3. 栄養バランスのとれた食事 4. よくかんで食べる 5. 家族や友人と楽しく食べる 6. 食事のマナーに気をつける 7. 食べ物を大切に 8. 食事を作ってくれた人へ感謝する 9. 行事の食べ物や郷土料理を食べる 10. 野菜を育てたり魚をとったり、酪農体験をする 11. その他() 12. 特になし | ○ | ○ | | 高知市2次計画 | | |
| (2) 現在の食生活・生活習慣 | ①朝食 【1-1】 | ★ ◎ あなたは(お子さんは)、ふだん朝ごはんを食べていますか。 | 1. ほとんど毎日食べる 3. 週2~3日食べる | 2. 週4~5日食べる 4. ほとんど食べない | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ 高知市2次計画 食育に関する意識調査 全国学力・学習状況調査 | |
| | ②朝食 欠食理由 | 上記「2.3.4」のいずれかと答えた方 朝ごはんを食べない主な理由(一番の理由)は何ですか。1つ選んでください。 | 1. 時間がない 3. 食事が用意されていない 5. 食べる習慣がない | 2. 食欲がない 4. 作るのが面倒だ 6. その他() | | ○ | ○ | ○ | 高知市2次計画 |
| | ③夜食 【1-1】 | お子さんは、夕食の後、寝るまでの間に何か食べることがありますか。 | 1. ほとんど毎日食べる 3. 週に2~3日食べる | 2. 週に4~5日食べる 4. ほとんど食べない | ○ | | | 高知市2次計画 | |
| | ④起床時間 【1-1】 | 平日(保育所や幼稚園がある日)、お子さんは、朝何時におきていますか。 あなたは学校がある日、朝何時におきていますか。 | 1. 6時30分まで 3. 7時30分まで 5. 8時よりあと | 2. 7時まで 4. 8時まで | ○ | | ○ | 高知市2次計画 | |
| | ⑤就寝時間 【1-1】 | 平日(次の日、保育所や幼稚園があるという日)、お子さんは、夜何時に寝ていますか。 あなたは、あした学校があるという日には、夜何時に寝ていますか。 | 1. 9時まで 3. 11時まで 5. 12時よりあと | 2. 10時まで 4. 12時まで | ○ | | ○ | 高知市2次計画 | |
| | ⑥栄養 バランス 【1-1②③】 | ★ ◎ あなたは、食事や買物の際に「主食・主菜・副菜をそろえる」など栄養バランスに心がけていますか。 主食:米、パン、麺類など 主菜:魚や肉、卵、大豆製品などを使ったメインの料理 副菜:野菜、きのこ、いも、海藻などを使った小鉢・小皿の料理 | 1. 心がけている 2. 特に心がけていない 3. わからない | | | ○ | | ○ | 高知市2次計画 |
| | ⑦主食・ 主菜・副菜 【1-1②③】 | ◎ あなたは、「主食・主菜・副菜」の3つをそろえて食べることが、1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。 | 1. ほぼ毎日 3. 週に2~3日 | 2. 週に4~5日 4. ほとんどない | | ◎ | | ◎ | 食育に関する意識調査 国民健康・栄養調査 |
| | ⑧外食 | あなたは(お子さんは)、外食することがどのくらいありますか。 | 1. 週に1回以上ある 3. ほとんどない | 2. 月に1回以上ある 4. まったくない | ○ | | | ○ | 高知市2次計画 |
| | ⑨中食 | あなたは(お子さんに)、調理済みの惣菜や弁当などを買ってきて食事をすることがありますか。 | 1. 毎日ある 3. たまにある | 2. 週に1回以上ある 4. まったくない | ○ | | | ○ | 高知市2次計画 |
| | ⑩中食の 選び方 | あなたが、調理済みの惣菜や弁当などを選ぶときに特に重視することは何ですか。 1つ選んでください。 | 1. ポリューム 3. 栄養バランス 5. その時の気分 7. その他() | 2. 価格 4. 好きな料理 6. 特に重視することはない | ○ | | | ○ | 高知市2次計画 |
| | ⑪食生活 の問題 【1すべて】 | あなたは、現在のご自分の食生活に問題があると思いますか。 あてはまるものをすべて選んでください。 | 1. 欠食がある 3. 栄養バランスの偏り 5. 食べ過ぎる 7. 問題はない | 2. 不規則な食事時間 4. よくかんで食べていない 6. その他() | | | | ○ | 高知市2次計画 |
| (3) 共食や孤食の状況 | ①共食「朝食」 【1-1③】 【2-4】 | ★ ◎ 平日(保育所や幼稚園がある日)、お子さんは、朝ごはんを誰かと一緒に食べますか。 あなたは、平日(学校がある日)、朝ごはんを誰かと一緒に食べますか。 | 1. 誰かと一緒に食べる人が多い 2. 一人で食べる人が多い 3. 朝ごはんを食べない | | ○ | | ○ | 高知市2次計画 | |
| | ②共食「夕食」 【1-1③】 【2-4】 | ★ ◎ 平日(保育所や幼稚園がある日)、お子さんは、晩ごはんを誰かと一緒に食べますか。 あなたは、平日(学校がある日)、晩ごはんを誰かと一緒に食べますか。 | 1. 誰かと一緒に食べる人が多い 2. 一人で食べる人が多い 3. 晩ごはんを食べない | | ○ | | ○ | 高知市2次計画 | |
| | ③孤食 【1-3, 2-4】 | ★ ◎ あなたは、一日のすべての食事をひとりで食べることがありますか。 | 1. ほとんどない 3. 週2~3日ある 5. ほとんど毎日 | 2. 週1日程度ある 4. 週4~5日ある | | | | ○ | 高知市2次計画 |
| | ④家族以外 の人と共食 の機会 【2-4】 | あなたは、家族以外の人(友人などの仲間やご近所さん、職場の人など)と一緒に食事をする機会がありますか。 | 1. よくある 3. あまりない | 2. ときどきある 4. まったくない | | | | ○ | (参考) 食育に関する意識調査 |
| | ⑤地域等での 共食 【2-4】 | あなたは、家族以外の地域の人など、誰かと食を楽しむ機会(食事会、料理教室、農業などの体験活動など)があれば、参加したいと思いますか。 | 1. とてもそう思う 3. どちらともいえない 5. まったくそう思わない | 2. そう思う 4. あまりそう思わない | | | | ○ | (参考) 食育に関する意識調査 |

| 調査項目 【3次計画具体的な取組*】 | アンケート調査の質問 | アンケート調査の回答 | 対象者 | | | 比較対象 参考 | |
|---------------------------|----------------------------------|--|--|----------|----|------------|--|
| | | | 幼児 幼児の 保護者 | 小5 中2 | 成人 | | |
| (4) 生活習慣病の予防や改善に関する食意識や実践 | ①メタボ予防 【1-②】★ | あなたは、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)予防や改善のために、次のことを実践していますか。あてはまるものをすべて選んでください | 1. 適切な食事 2. 定期的な運動 3. 週に複数回の体重測定 4. 1～3のことは実践していない | | | ○ | 高知市2次計画 |
| | ②減塩に関する実践 【1-②】◎ | あなたは、生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから「減塩」に気をつけた取組をしていますか。実践していることをすべて選んでください。 | 1. 減塩の調味料や食品を使う 2. 漬物や佃煮を控える 3. 類類の汁を残す 4. 卓上調味料(しょうゆ、ソースなど)をむやみに使わない 5. 食品表示(食塩相当量またはナトリウム量)を確認する 6. その他() 7. 特に実践していない | | | ◎ | (参考) 食育に関する意識調査 日本高血圧学会 「減塩のコツと塩分多い食品・料理」 |
| | ③歯肉炎 【1-④】 | おいしく食べるためには、口の健康が大切ですが、あなたは、歯をみがく時、歯ぐきから血がでることがありますか。 | 1. ある 2. ない | | | ○ | 高知市2次計画 |
| | ④口の健康 【1-④】 | 口の健康のために、あなたが気をつけていることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。 | 1. 鏡で歯や歯ぐきの観察をする 2. 丁寧に歯をみがく 3. フッ素入りの歯磨剤を使う 4. 定期的に歯科医院を(歯医者さんへ)受診する 5. その他() 6. 特にない | | | ○ ○ | 高知市2次計画 |
| | ⑤よく噛む 【1-②④】◎ | あなたは、ふだん、ゆっくりよく噛んで食べていますか。1つ選んでください。 | 1. ゆっくりよく噛んで食べている 2. どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている 3. どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない 4. ゆっくりよく噛んで食べていない | | | ◎ ◎ | 食育に関する意識調査 |
| (5) 食品の安全性 | ①食中毒予防の知識 【1-⑤】◎ | ★ 食中毒予防の知識について、知っている項目をすべて選んでください。 | 1. 食材に食中毒菌が付いても、臭い・色・味などは変わらない 2. 山などで汲む湧き水は、野生動物の糞などで微生物汚染されていることがある 3. 食肉に十分に火を通さずに食べると、食中毒になる可能性がある 4. 牛の生レバーは、食品衛生法で生食用として販売提供することが禁止されている 5. カキなどの二枚貝は、ノロウイルスで汚染されていることがある 6. 鶏の卵は、殻の表面に食中毒菌が付いている可能性がある 7. 冷蔵庫は、詰めすぎると食品が十分に冷えない | | ◎ | ◎ | 高知市2次計画 |
| (6) 食文化の継承及び伝承 | ①郷土食・伝統食 【2-②】 | あなたは(お子さんは)、おせち料理や七草がゆ、冬至のかぼちゃ料理といった、伝統的な行事の食べ物を家庭で(家で)食べることがありますか。 | 1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない | ○ | ○ | ○ | 高知市2次計画 |
| | ②高知の食 【2-②】◎ | ★ あなたは(お子さんは)、高知ならではの料理や食材(血鉢料理、いたどりなど)を食べたことがありますか。 | 1. 食べたことがある 2. 食べたことがない 3. 高知ならではの料理や食材を知らない | ○ | ◎ | ◎ | 高知市2次計画 |
| | ③共食 【2-②④】◎ | ★ あなたは、地域の人や家族と一緒に、高知ならではの食(血鉢料理や田舎ずし、山菜採りやタキづくりなど)を楽しむことがありますか。 | 1. よくある 2. ときどきある 3. ほとんどない 4. したことがない | | ◎ | ◎ | 高知市2次計画 |
| | ④食文化の伝承 【2-②④】◎ | ◎ 高知ならではの料理や食材、食べ方などを次世代に伝えていくことは大切だと思いますか。 | 1. 大切だと思う 2. 大切だと思わない 3. わからない | | | ◎ | 高知市2次計画 |
| | ⑤街路市 【2-②③】 | 高知市では木曜市や日曜市などの街路市が開かれています。あなたは街路市を利用していますか。 | 1. よく利用する 2. ときどき利用する 3. ほとんど利用しない 4. 利用したことがない | | | ○ | 高知市2次計画 |
| | | 高知市では木曜市や日曜市などの街路市が開かれています。お子さんと街路市に行くことがありますか。あなたは街路市に行くことがありますか。 | 1. よく行く 2. ときどき行く 3. ほとんど行かない 4. 行ったことがない | ○ | ○ | | 高知市2次計画 |
| ⑥高知の食の豊かさ 【2-②③】◎ | ★ 「高知の食は豊かだ」といわれますが、あなたはどう思いますか。 | 1. とても思う 2. 思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない | | | ◎ | 高知市2次計画 | |
| (7) 食に関する感謝の念や環境への配慮 | ①食べ残し 【2-①】 | あなたは、食べ残しをしないように心がけていますか。 | 1. いつも心がけている 2. 心がけていることもある 3. あまり心がけていない | | | ○ | 高知市2次計画 |
| | ②食品廃棄 【2-①】 | あなたは、食べ残しなどの食品廃棄について「もったいない」と思いますか。 | 1. とても思う 2. 思う 3. あまり思わない 4. まったく思わない | | | ○ | 高知市2次計画 |
| | ③食品ロスの取組 【2-①】◎ | ★ あなたは、「食品ロス」を軽減するために取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。 ※「食品ロス」とは、食べられるのに廃棄される食品のことです。 | 1. 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する 2. 冷凍保存を活用する 3. 料理を作り過ぎない 4. 飲食店等で注文し過ぎない 5. 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する 6. 残さず食べる 7. 「賞味期限」を過ぎてみずぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する 8. その他() 9. 取り組んでいることはない | | | ◎ | 消費者意識基本調査 |
| | ④農林漁業体験の関心 【2-③】 | あなたは、農林漁業体験に関心がありますか。 | 1. 関心がある 2. 関心がない | | | ○ | (参考) 食育に関する意識調査 |
| | ⑤農林漁業体験の場 【2-③】 | 上記「1. 関心がある」と答えた方 実際に、農林漁業を体験する場がありますか。 | 1. ある 2. ない | | | ○ | |

※ 第3次高知市食育推進計画 具体的な取組（計画書P10～参照）

1 健康なこころと身体のための食育

- ①基本的な食習慣を身につけるための取組
- ②生活習慣病を予防するための取組
- ③低栄養*を予防するための取組
- ④歯と口の健康のための取組
- ⑤安全な食生活を送るための取組
- ⑥災害に備えるための取組

2 豊かな食を実現するための食育

- ①環境を大切にするための取組
- ②高知の食（食材・食文化）を大切にするための取組
- ③農林漁業への理解を深めるための取組
- ④人の輪をつなげるための取組

各調査項目が上記の10の具体的な取組のうちのどの取組にあたるか【 】内に記載

（例 非常食の項目は「1健康なこころと身体のための食育 ⑥災害に備えるための取組」であるので【1-⑥】）

| 調査項目 【3次計画具体的な取組*】 | アンケート調査の質問 | アンケート調査の回答 | 対象者 | | | | 比較対象・参考 | |
|-----------------------|---------------------------------|---|--|------------|----------|----|---------|--------------------------|
| | | | 幼児 | 幼児の 保護者 | 小5 中2 | 成人 | | |
| (8) その他 | ①非常食 【1-⑥】 | ★ ◎ あなたの世帯は、災害時に備えて非常用の食料を用意していますか。あてはまるものすべてを選んでください。 | 1. 主食(レトルトご飯、めしを乾燥させた加工米、乾パン等) 2. 副食(肉・魚等の缶詰、カレー・シチュー等のレトルト食品等) 3. 飲料(水、お茶等) 4. その他() 5. 特に用意していない | | ◎ | | ◎ | 高知市2次計画 県民健康・栄養 調査 |
| | ②妊娠期の 食生活等 【1-①②③】 | ご記入者が、アンケート対象のお子さんのお母さんの場合のみお答えください。 あなたがお子さんを妊娠中に、食生活等について気をつけていたことをすべて選んでください。 | 1. 主食・主菜・副菜をそろえるなど、栄養のバランスに配慮する 2. 一日3食きちんと食べる 3. 塩分を取りすぎないようにする 4. ゆっくりよく噛んで食べる 5. 食品表示を確認するなど、食の安全性に関心をもつ 6. 妊娠前の体格にあった体重増加をめざす 7. その他() 8. 特になかった | | ○ | | | |
| | ③授乳・離乳食 【1-①、2-④】 | お子さんの授乳や離乳食について、困ったことがありましたか。 | 1. あった 2. なかった | | ○ | | | |
| | ④離乳食を 学ぶ機会① 【1-①、2-④】 | 離乳食の進め方について、学ぶ機会がありましたか。 | 1. あった 2. なかった | | ○ | | | 乳幼児栄養調査 |
| | ⑤離乳食を 学ぶ機会② 【1-②、2-④】 | 上記「1. あった」と答えた方 どこで(誰から)学びましたか。あてはまるものをすべて選んでください。 | 1. 保健所・市町村保健センター 2. 病院・診療所(産院)・助産所 3. 保育所(園)、幼稚園等 4. 地域子育て支援センター 5. あなたの母親など家族 6. 友人・仲間 7. テレビ 8. インターネット 9. 育児雑誌 10. その他() | | ○ | | | 乳幼児栄養調査 |
| 属 性 | あなたの性別を教えてください。 (お子さんの) | 1. 男 2. 女 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | あなたの年齢を教えてください。 | 1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上 | | ○ | | | ○ | |
| | あなたの学年を教えてください。 | 1. 小学5年生 2. 中学2年生 | | | ○ | | | |
| | お子さんは、保育所や幼稚園などに通っていますか。 | 1. 保育所 2. 幼稚園 3. その他() 4. 通っていない | | ○ | | | | |
| | 現在、一緒にお住いの 家族構成を教えてください。 | 1. 親と子 2. 三世同居世帯 3. その他(具体的に) 1. ひとり世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. 二世同居世帯(親と同居) 4. 二世同居世帯(子と同居) 5. 三世同居世帯 6. その他(具体的に) | | ○ | | | ○ | |
| | お子さんとの関係を教えてください。 | 1. 父 2. 母 3. 祖父 4. 祖母 5. その他() | | ○ | | | | |
| | 現在のあなたの暮らしについて、あてはまるものを選んでください。 | 1. ゆとりがある 2. ややゆとりがある 3. どちらともいえない 4. あまりゆとりがない 5. まったくゆとりがない | | ○ | | | ○ | |

第4次高知市食育推進計画策定 スケジュール予定（令和4～5年度）

| 年度 | 月 | 高知市食育推進委員会 | 高知市食育推進会議 | その他 |
|----|----------------|----------------------------------|--|------------------|
| 4 | 5月 | 第1回高知市食育推進委員会 | | |
| | 11月 | 第2回高知市食育推進委員会 | | |
| | 11月末～ 12月初旬 | | 第1回高知市食育推進会議 ・第4次高知市食育推進計画方向性確認 ・食育に関するアンケート内容について、対象の決定 | |
| | 1月下旬 | 第3回高知市食育推進委員会 ・食育に関するアンケート案作成 | | |
| | 2月末～ 3月初旬 | | 第2回高知市食育推進会議 ・食育に関するアンケートの決定 | |
| 5 | 4月～ | | | 高知市食育に関するアンケート実施 |
| | 4～2月 | 4回程度開催予定 | 3回程度開催予定 | (12月 パブリックコメント) |
| | 2～3月 | | 市長へ報告，第4次食育推進計画策定 | |